

● 共立女子大学学則（案）

第1章 総 則

第1条 本学は、専門の学芸を教授研究し、学生の主体的な学びを育み、幅広く深い教養および総合的な判断力を培うとともに、誠実で豊かな人間性を涵養し、社会に広く貢献する自立した女性を育成することを目的とする。

2 前項の規定に基づき、本学の各学部等の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、第3条の2に定める。

第1条の2 本学は、前条の目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行ない、その結果を公表する。

2 前項に関する規定は別に定める。

3 本学は、第1項の措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、一定の期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた機関による評価を受ける。

第1条の3 本学は、教育研究活動の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供する。

第2章 学部、学科の組織および修業年限

第2条 第1条の目的を達成するため、本学に家政学部、文芸学部、国際学部、看護学部およびビジネス学部をおく。

第3条 家政学部は被服学科、食物栄養学科、建築・デザイン学科、児童学科をおき、食物栄養学科は食物学専攻と管理栄養士専攻に分ける。

2 文芸学部は文芸学科をおく。

3 国際学部は国際学科をおく。

4 看護学部は看護学科をおく。

5 ビジネス学部はビジネス学科をおく。

第3条の2 第1条第2項の規定に基づき、本学の各学部等の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的について、以下のとおり定める。

(1) 家政学部

家政学部の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子大学の人材養成目的に基づき、「幅広く深い教養および総合的な判断力を基盤として、生活者の視点から人間生活について広く追究し、現代社会において人々の生活の向上と福祉に貢献する自立した女性を育成する」ことである。

① 被服学科

家政学部被服学科の人材養成目的は、家政学部の人材養成目的に基づき、「被服学を理論と実践の両面から学ぶことにより、高い専門性を有すると共に、伝統に培われた教育理

念を踏まえながら知性と情操とを備え、新しい時代の流れに即応して広く社会的に活動ができる女性を育成する」ことである。

② 食物栄養学科

家政学部食物栄養学科の人材養成目的は、管理栄養士専攻においては管理栄養士養成施設指定基準を遵守したうえで、食物学専攻・管理栄養士専攻ともに家政学部の人材養成目的に基づき、「本学科で学ぶ全ての学生に対して社会に通用する広い教養を十分に涵養せしめたうえで、現代の多様な食生活の中にあっても多くの人々がより一層の健康な社会生活が営めることをめざし、食の安全性はもとより、栄養の素材としての食物、並びに食物と健康に関する幅広い知識とその実践的能力を身につけた女性を育成する」ことである。

1) 食物学専攻

家政学部食物栄養学科食物学専攻の人材養成目的は、家政学部の人材養成目的に基づき、「本専攻で学ぶ全ての学生に対して社会に通用する広い教養を十分に涵養せしめたうえで、現代の多様な食生活の中にあっても多くの人々がより一層の健康な社会生活が営めることをめざし、食の安全性はもとより、栄養の素材としての食物、並びに食物と健康に関する幅広い知識とその実践的能力を身につけた女性を育成する」ことである。

2) 管理栄養士専攻

家政学部食物栄養学科管理栄養士専攻の人材養成目的は、管理栄養士養成施設指定基準を遵守したうえで、家政学部の人材養成目的に基づき、「ライフサイクルに応じた栄養指導や病者の食事療法を中心とする栄養指導能力を培い、健康づくりの専門職として医療機関、社会福祉施設、学校教育現場などさまざまな場で活躍できる幅広い知識とその実践的能力を身につけた女性を育成する」ことである。

③ 建築・デザイン学科

家政学部建築・デザイン学科の人材養成目的は、家政学部の人材養成目的に基づき、「人が生きていくために必要な生活の場を構成している『空間』や『モノ』などを総合的にとらえ、学び、安全・安心・快適な生活を実現するために『建築』と『デザイン』から提案できる専門的知識・実践力を身につけた女性を育成する」ことである。

④ 児童学科

家政学部児童学科の人材養成目的は、家政学部の人材養成目的に基づき、「関係的存在である児童について、主として乳幼児期・児童期を通して児童の健全な発達および自立支援、さらに児童をとりまく人的、物的環境への働きかけのために必要な専門的知識・実践力を身につけた女性を育成する」ことである。

(2) 文芸学部・文芸学科

文芸学部の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子大学の人材養成目的に基づき、「文学と芸術の世界をさまざまな視点から広く深くとらえることを通じて、文化全般にわたる広い視野と教養をそなえた豊かな人間性を養うことであり、また実社会において、

自立した個人として、他者と協調しつつ、主体的に社会の発展に貢献しうる女性を育成する」ことである。

(3) 国際学部・国際学科

国際学部の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子大学の人材養成目的に基づき、「国際的な政治・社会の仕組みや国際文化について理解し、国際文化交流・社会活動の方法を身につけ、比較の視点や異文化への豊かな感性をそなえて、国際的な関係を有する内外の場で活躍できる人材を育成する」ことである。

(4) 看護学部・看護学科

看護学部の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子大学の人材養成目的に基づき「幅広い教養を基盤とした豊かな人間性を養い、看護専門職として必要とされる知識・技術・態度に基づいた看護実践能力を修得するとともに、将来にわたり看護の向上に資するための研鑽能力を養い、人々の健康の保持増進に寄与することにより、自ら自己の将来を切り開き、自立的に社会に参画・貢献しうる女性を育成する。」ことである。

(5) ビジネス学部・ビジネス学科

ビジネス学部の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子大学の人材養成目的に基づき、「ビジネスの場で活用できる知識・技能と必要な教養を身に付け、他者と協働してリーダーシップを発揮できる人材を養成する」ことである。

第4条 各学部の修業年限は4年とする。ただし、在学年数は8年を超えることはできない。

第3章 学年、学期および休業日

第5条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第6条 学年を分けて次の2学期とする。

前期 4月1日から9月20日まで

後期 9月21日から翌年3月31日まで

第7条 休業日は次の通りとする。

- ① 日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ② 本学創立記念日（10月18日）
- ③ 夏季休業日（7月28日から9月20日まで）
- ④ 冬季休業日（12月21日から翌年1月7日まで）
- ⑤ 春季休業日（3月20日から4月7日まで）

ただし、休業日においても必要ある場合は授業を行なうことがある。

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更し、また臨時の休業日を定めることができる。

第4章 教職員組織

第8条 本学に学長、学部長および主任をおく。

2 本学に副学長をおくことができる。

3 学長、副学長、学部長および主任の職務は次の各号の通りとする。

- ① 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
- ② 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。
- ③ 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。
- ④ 主任は、学部長を助け、命を受けて学部に関する校務をつかさどる。

第9条 本学に教授、准教授、講師、助教および助手をおく。

第10条 本学に事務職員をおく。

第11条 本学に全学共通教育委員会をおく。全学共通教育委員会については、別に定める。

2 本学に教授会をおく。教授会は教授をもって構成する。ただし、必要ある場合は准教授、講師および助教を加えることができる。

第12条 教授会は当該学部に関する次の事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- ① 学生の入学、卒業および課程の修了
- ② 学位の授与
- ③ 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、当該学部の教育研究に関する事項について審議し、および学長、学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

第5章 授業科目および単位数

第13条 家政学部の授業科目は教養教育科目、専門教育科目をおく。

第13条の2 文芸学部の授業科目は教養教育科目、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱに分け、別に司書に関する科目をおく。

第13条の3 国際学部の授業科目は教養教育科目、外国語等科目、専門基礎科目、専門科目、関連科目に分け、外国人留学生および外国において相当の期間、中等教育を受けた者に対して、日本語科目および日本事情に関する科目（教養教育科目および外国語等科目に含まれる）をおき、別に日本語教師養成に関する科目をおく。

第13条の4 教職に関する科目、司書教諭に関する科目、学芸員に関する科目は、それぞれ別表11の1、別表11の2、別表11の3のとおりおく。

第13条の5 看護学部の授業科目は、教養教育科目、専門基礎科目、専門基幹科目、専門展開科目および看護研究科目に分ける。

第13条の6 ビジネス学部の授業科目は、教養教育科目、専門基礎科目、専門基幹科目および専門発展科目に分ける。

第14条 家政学部の授業科目および単位数は別表第1の通りとする。

第 15 条 文芸学部の授業科目および単位数は別表第 5、第 6 の通りとする。

第 15 条の 2 国際学部の授業科目および単位数は別表第 10 の 1、第 10 の 2 の通りとする。

第 15 条の 3 看護学部の授業科目および単位数は別表第 12 の通りとする。

第 15 条の 4 ビジネス学部の授業科目および単位数は別表 13 の通りとする。

第 16 条 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

- ① 講義、演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- ② 実験、実習および実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- ③ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組合せに応じ、前 2 号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- ④ 前 3 号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業制作等については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

第 16 条の 2 1 年間の授業を行なう期間は試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則とする。

第 16 条の 3 本学は、学生に対して、授業の方法および内容ならびに 1 年間の授業の計画をあらかじめ明示する。

2 本学は、学修の成果に係る評価および卒業の認定に当たっては、客観性および厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。

第 16 条の 4 本学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修および研究を実施する。

第 6 章 履修方法

第 17 条 各学部の授業科目は教授会の定める教育課程に従い、各年次に配当する。学生は原則として、各年次に配当された授業科目を履修するものとする。

第 18 条 学生は履修しようとする授業科目を毎学年始め、所定の期日までに届け出なければならない。

第 19 条 学生は所属の学科または専攻によって、それぞれ次の単位を修得することとする。

家政学部

授業科目区分		学科・専攻	被服学科		食物栄養学科			建築・デザイン学科		児童学科	
			A	B	食物学専攻		管理栄養士専攻	建築	デザイン		
					A	B					
教養教育科目	必修	6		6		6		6	6	6	
	選択	22		22		14		22	22	22	
専門教育科目	学科専門教育科目	必修	0		40		91		84	68	24
		選択必修	4	6	11	13	0				0
	家政学部共通科目	選択	76	74	29	27	9	12	28	72	
	学科専門教育科目										
専門小計		80		80		100		96		96	
自由選択区分		16		16		4		0		0	
合計		124		124		124		124		124	

文芸学部

授業科目区分		学科	文芸学科	
教養教育科目	必修科目		10	28
	選択科目		18	
専門基礎科目	必修科目		2	22
	選択科目		20	
専門分野Ⅰ科目	必修科目		20	
	選択科目			
専門分野Ⅱ科目	必修科目		2	24
	選択科目		22	
教養教育科目以外の全科目から			30	
合計			124	

国際学部

授業科目区分		学 科		国 際 学 科	
教養教育科目	必修科目	6		28	
	選択科目	22			
外国語等科目			16		
専門基礎科目	必修科目	2	20		
	選択科目	18			
専門科目	必修科目	16	40		
	選択科目	24			
自由選択単位 (関連科目・他学部開放科目を含む)				20	
合 計				124	

看護学部

授業区分		学 科		看 護 学 科	
教養教育科目	必修科目	8		20	
	選択科目	12			
専門基礎科目	必修科目	29		29	
専門基幹科目	必修科目	59		59	
専門展開科目	必修科目	3		13	
	選択必修科目	1			
	選択科目	9			
看護研究科目	必修科目	3		3	
合 計				124	

ビジネス学部

授業区分		学 科	ビ ジ ネ ス 学 科	
教養教育科目	必修科目	14	28	
	選択科目	14		
専門基礎科目	必修科目	16		
専門基幹科目	必修科目	32		
専門発展科目	必修科目	12		
	選択科目	36		
合 計		124		

第 19 条の 2 教育上有益と認めるときは、他の大学または短期大学との協議により、学生が当該他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことがある。

2 前項の規定は、学生が、外国の大学または短期大学に留学する場合および外国の大学または短期大学が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

3 前 2 項の規定については別に定める。

第 19 条の 3 教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、必要な単位を与えることがある。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項および第 2 項による単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

3 前 2 項の規定については別に定める。

第 19 条の 4 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する以前に大学または短期大学において修得した単位（第 33 条の 2 に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学において修得したものとみなすことがある。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する以前に行なった前条第 1 項に規定する学修を、本学における履修とみなし必要な単位を与えることがある。

3 前 2 項により修得したものとみなし、または与えることができる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 19 条の 2 第 1 項および第 2 項並びに前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

4 前3項の規定については別に定める。

第20条 教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法および同法施行規則に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。

2 司書教諭の資格を得ようとする者は、教育職員免許法に定める教諭普通免許状を有し、学校図書館司書教諭講習規程第3条および同附則第2項に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。

3 本学で取得できる教育職員免許状等の種類は次の通りとする。

学部・学科・専攻	免許状等の種類	
家政学部 被服学科	高等学校教諭一種免許状 家庭 中学校教諭一種免許状 家庭	司書教諭
食物栄養学科 食物学専攻 管理栄養士専攻	高等学校教諭一種免許状 家庭 中学校教諭一種免許状 家庭 栄養教諭一種免許状	司書教諭
建築・デザイン学科	高等学校教諭一種免許状 美術、家庭 中学校教諭一種免許状 美術、家庭	司書教諭
児童学科	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状	
文芸学部 文芸学科	高等学校教諭一種免許状 国語、外国語（英語、フランス語）、美術、情報 中学校教諭一種免許状 国語、外国語（英語、フランス語）、美術	司書教諭
国際学部 国際学科	高等学校教諭一種免許状 地理歴史、公民、外国語（英語） 中学校教諭一種免許状 社会、外国語（英語）	司書教諭
家政学部食物栄養学科管理栄養士専攻は、司書教諭の資格は取得できない。 家政学部食物栄養学科食物学専攻は、栄養教諭の免許は取得できない。		

家政学部食物栄養学科管理栄養士専攻は、司書教諭の資格は取得できない。

家政学部食物栄養学科食物学専攻は、栄養教諭の免許は取得できない。

4 管理栄養士国家試験の受験資格を得ようとする者は、家政学部食物栄養学科管理栄養士専攻に在籍し、栄養士法、同法施行規則および管理栄養士学校指定規則に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。

管理栄養士養成に関する細則は別に定める。

5 一級建築士試験の受験資格を得ようとする者は、家政学部建築・デザイン学科に在籍し、建築士法第14条第4号の規定に基づいて、所定の授業科目を履修し、単位を取得しなければならない。

また、二級建築士試験の受験資格を得ようとする者は、家政学部建築・デザイン学科に在籍し、建築士法第15条第3号の規定に基づいて、所定の授業科目を履修し、単位を取得しなければならない。

なお、一級建築士試験および二級建築士試験の受験資格の取得に関する細則は、別に定める。

6 保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行令および同法施行規則および保育士養成施設指定規則に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。

保育士養成に関する細則は別に定める。

7 学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法および同法施行規則第1条に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。

8 文芸学部において司書の資格を得ようとする者は、図書館法および同法施行規則第1条に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。

9 看護師国家試験の受験資格を得ようとする者は、看護学部看護学科に在籍し、保健師助産師看護師法に定める授業科目および単位数を修得しなければならない。看護師養成に関する細則は別に定める。

第7章 収容定員

第21条 各学部の収容定員は次の通りとする。

	入学定員	収容定員
家政学部		
被服学科	90名	360名
食物栄養学科		
食物学専攻	55名	220名
管理栄養士専攻	50名	200名
建築・デザイン学科	100名	400名
児童学科	150名	600名
文芸学部		
文芸学科	350名	1,400名
国際学部		
国際学科	250名	1,000名
看護学部		
看護学科	100名	400名
ビジネス学部		
ビジネス学科	150名	600名

第8章 入学、休学、復学、退学、編入学、再入学、留学および除籍

第22条 入学の時期は学年の始めとする。

第23条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- ① 高等学校または中等教育学校の後期課程を卒業した者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑥ 学校教育法施行規則第150条第4号において文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

第24条 入学志願者に対しては選抜試験を行なう。

第25条 入学志願者は、入学志願書および出身学校長から提出する調査書を所定の期日までに提出し、本学則第46条に規定する入学検定料を納入しなければならない。

第26条 選抜試験に合格し、所定の期日までに本学則第46条に規定する納入金を納め、保証人連署の誓約書を提出した者に対して入学を許可する。

- 2 保証人は父または母とし、父母のない場合はこれに代わるべき者で、独立の生計を営み、保証人としての責務を確実に果たし得る者でなければならない。
- 3 本学が保証人として不適当と認めるときは、その変更を命ずることがある。
- 4 学生が保証人を変更しようとするときは、新旧保証人連署してただちに届け出なければならない。また、保証人が住所、氏名を変更したときは、ただちに届け出なければならない。

第27条 病気その他止むを得ない理由によって1学期以上就学できない者は、保証人連署のうえ願い出て教授会の議を経て休学の許可を得なければならない。ただし、休学の期間はその学年度内とし、願い出によって、引き続き1年以内休学することができる。

- 2 休学の期間は通算して4年を超えることはできない。
- 3 休学の期間は、本学則第4条に規定する修業年限および在学年数に算入しない。

第28条 休学者が復学しようとするときは、保証人連署のうえ願い出て、教授会の議を経て許可を得なければならない。

2 復学の時期は学期の始めとする。

第 29 条 病気その他止むを得ない理由によって退学しようとする者は、保証人連署のうえ
願い出て、教授会の議を経て許可を得なければならない。ただし、願い出た期日を含む学
期の授業料等学費を納入していなければならない。

第 30 条 次の各号の一に該当する者が本学に編入学を願い出た場合は、欠員のある場合に
限り選考のうえ教授会の議を経て入学を許可することがある。

- ① 大学を卒業した者
- ② 大学に 2 年以上在学した者
- ③ 短期大学または高等専門学校を卒業した者
- ④ 専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者
- ⑤ 高等学校の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の
定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

2 編入学を許可された場合の既修得単位認定については別に定める。

3 本学から他の大学に編入学を願い出る者がいるときは、その願い出の理由によって教
授会の議を経てこれを許可することがある。

第 31 条 本学則第 29 条によって退学した者または第 31 条の 3 第 1 項第 1 号、第 3 号から
第 5 号の規定により除籍された者が、2 年以内に再入学を願い出るときは、選考のうえ、教
授会の議を経てこれを許可することがある。ただし、入学の時期は本学則第 22 条による
ものとする。

2 再入学に関する規程は別に定める。

第 31 条の 2 外国の大学あるいはこれに相当する高等教育機関に留学を希望する者は、教
授会の議を経て留学することができる。

2 前項の留学期間は、1 年を限度として在学年数に算入することができる。

3 留学に関して必要事項は、別に定める。

第 31 条の 3 次の各号の一に該当する者は教授会の議を経て除籍する。

- ① 本学則に定める期限までに授業料等の学費を納入していない者
- ② 本学則に定める在学年限を超えた者
- ③ 本学則に定める休学期間を超えた者
- ④ 長期間にわたり行方不明の者
- ⑤ 本学所定の期日までに履修しようとする授業科目の届け出がない者

2 前項各号の取扱いについては別に規程を定める。

第 32 条 学生が住所、氏名および本籍地を変更したときはただちに届け出なければなら
ない。

第 9 章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人学生および委託生

第 33 条 本学において特定の事項に関する研究に従事することを希望する者がいるとき
は、学生の学修に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可すること

がある。

2 研究生に関する規程は別に定める。

第 33 条の 2 本学則第 23 条の各号の一に該当する者が、本学の授業科目中その一部について履修を願い出るときは、学生の学修に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生として履修し試験に合格した者には、その授業科目所定の単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関して必要な事項は別に定める。

第 33 条の 3 特定の授業科目を履修することを希望する他の大学または外国の大学の学生があるときは、当該大学との協議に基づき、所定の手続を経て、特別聴講学生として、入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関する規程は別に定める。

第 34 条 科目等履修生として履修を許可された者は、本学則第 46 条に規定する科目等履修登録料および科目等履修料を所定の期日までに納入しなければならない。

第 35 条 削 除

第 36 条 削 除

第 37 条 外国公館の証明のある外国人で、入学を志願する者があるときは、特別の選考の上、外国人学生として、入学を許可することがある。

第 38 条 他の大学または公共機関から委託生として推薦された者が学修を願い出るときは、学生の学修に支障のない場合に限り、これを許可することがある。

第 39 条 外国人学生および委託生の授業料その他の納入金については、科目等履修生に
ずる。

第 40 条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人学生および委託生については、本章の規定のほか正規の学生に関する規定を準用する。

第 10 章 課程修了の認定

第 41 条 授業科目修了の認定は試験による。

第 42 条 試験の方法は、筆記試験のほか、口述試験、レポート、論文、作品および実技等による。

2 試験の成績は S・A・B・C・Dをもって表わし、S・A・B・Cを合格とする。

3 試験に合格した学生には、その授業科目所定の単位を与える。

4 試験に不合格となった授業科目については、再履修しなければ試験を受けることができない。

第 43 条 病気その他止むを得ない理由によって試験に欠席した者は、所定の期日までに願
い出て許可を得た場合に限り、追試験を受けることができる。

第 11 章 卒業および学位の授与

第 44 条 本学を卒業するためには、学生は 4 年以上在学し、本学則第 19 条に規定する単位数を別表第 1、第 5、第 10 の 1、第 12、第 13 の中から修得しなければならない。

第 44 条の 2 本学に 4 年以上在学し、本学則に規定する授業科目および単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 削除

第 45 条 卒業を認定した学生には、学士の学位を授与する。

2 学長は、前項の規程により卒業を認定された者に学士の学位を授与する。本学において授与する学位は、専攻分野により次のとおりとする。

家政学部	学士（家政学）
文芸学部	学士（文芸学）
国際学部	学士（国際学）
看護学部	学士（看護学）
ビジネス学部	学士（ビジネス学）

3 学位に関する規程は別に定める

第 12 章 学 費 その他

第 46 条 入学金、授業料、施設設備維持費、実験実習料、科目等履修登録料および科目等履修料の納入額および納入方法は、別表納入額第 1 の 1 の通りとする。

2 入学検定料は別表納入額第 1 の 2 の通りとする。

第 47 条 本人および保証人の連署で所定の期間内に入学辞退の申し出のあった者に限り入学金以外の納入金を返還する。

第 47 条の 2 経済的理由によって授業料等学費の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者またはその他止むを得ない事情があると認められる者で、当該学部を経て願い出たときは、授業料等学費の徴収を猶予することができる。

2 授業料等学費の徴収の猶予に関する規程は別に定める。

第 47 条の 3 休学の場合は在籍料として授業料、施設設備費、実験実習料の半額を納めなければならない。

2 申し出の時期については別に定める。

第 47 条の 4 学期の途中で退学を願いでた場合、納入済みの授業料、施設設備費、実験実習料は返還しない。未納の場合は納入しなければならない。

2 申し出の時期については別に定める。

第 48 条 授業料等の学費を納入していない者は試験を受けることができない。

第 49 条 削除

第 50 条 削除

第 51 条 削 除

第 52 条 削 除

第 13 章 賞 罰

第 53 条 学業が特に優秀な者または学生の模範となる行為をした者は、教授会の議を経て学長がこれを表彰することがある。

第 54 条 本学教育の趣旨に背きまたは学生の本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学および退学とする。

3 退学は次の各号の一に該当する者に対して行なう。

- ① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当の理由がなくて出席常でない者
- ④ 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 14 章 図書館および研究所

第 55 条 本学に図書館をおく。

2 図書館に関する規程は別に定める。

第 56 条 本学に総合文化研究所をおく。

2 研究所に関する規程は別に定める。

第 15 章 公開講座

第 57 条 公開講座は教授会の議を経て随時開設する。

第 16 章 学 生 寮

第 58 条 本学に学生寮を付設する。

2 学生寮に関する規程は別に定める。

附 則

本学則は昭和 24 年 4 月 1 日からこれを施行する。

附 則

この改正学則は昭和 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 35 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 36 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 37 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 38 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 39 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 41 年 4 月 1 日から施行し、同年 4 月入学生から適用する。

附 則

この改正学則は昭和 43 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 45 年 4 月 1 日から施行し、同年 4 月入学生から適用する。

附 則

この改正学則は昭和 46 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 45 年度以前に入学した者については第 47 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 47 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和 48 年 4 月 1 日から施行し、同年 4 月入学生から適用する。

附 則

この改正学則は昭和 49 年 4 月 1 日から施行し、同年 4 月入学生から適用する。

附 則

この改正学則は昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 49 年度以前に入学した者については第 46 条、第 47 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 50 年度以前に入学した者については第 46 条、第 47 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 51 年度以前に入学した者については第 46 条、第 47 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 52 年度以前に入学した者については第 46 条、第 47 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 53 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 54 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 55 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 56 年度以前に入学した者については第 20 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 58 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 56 年度以前に入学した者については第 20 条、昭和 57 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 56 年度以前に入学した者については第 20 条、昭和 58 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 59 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 60 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 61 年度以前に入学した者については第 19 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 62 年度以前に入学した者については第 19 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は平成元年 4 月 1 日から施行する。

なお、昭和 63 年度以前に入学した者については第 19 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は平成 2 年 4 月 1 日から施行し、同年 4 月入学者より適用する。

なお、平成元年度以前に入学した者については、施設々備資金を授業料として徴収する。

附 則

1. この改正学則は平成 3 年 4 月 1 日から施行する。

2. 第 21 条の規定にかかわらず入学定員は、平成 3 年度から平成 11 年度までの間は、次のとおりとする。

	入学定員		入学定員
家政学部		文芸学部	
被服学科	100名	文学専攻	320名
食物学科		芸術学専攻	80名
食物学専攻	50名	国際文化学部	
管理栄養士専攻	40名	国際文化学科	200名
生活美術学科	100名		

3. 平成 2 年度以前に入学した者については第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

2. 第 21 条の規定と、平成 3 年 4 月 1 日施行の附則にかかわらず入学定員は、平成 4 年度から平成 11 年度までの間は、次のとおりとする。

	入学定員		入学定員
家政学部		文芸学部	
被服学科	100名	文学専攻	320名
食物学科		芸術学専攻	80名

食物学専攻	50名	国際文化学部	
管理栄養士専攻	40名	国際文化学科	250名
生活美術学科	100名		

3. 第45条の規定については平成4年3月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成5年4月1日から施行する。

なお、平成4年度以前に入学した者については第46条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は平成6年4月1日から施行する。

なお、平成4年度以前に入学した者については第46条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

この改正学則は平成7年4月1日から施行し、同年4月入学生から適用する。

なお、平成6年度以前に入学した者については、第19条、平成4年度以前に入学した者については、第46条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成8年4月1日から施行し、同年4月入学生から適用する。

2. 第21条の規定と、平成4年4月1日施行の附則にかかわらず入学定員は、平成8年度から平成11年度までの間は、次のとおりとする。

	入学定員		入学定員
家政学部		文芸学部	
被服学科	100名	文学専攻	320名
食物学科		芸術学専攻	80名
食物学専攻	40名	国際文化学部	
管理栄養士専攻	50名	国際文化学科	250名
生活美術学科	100名		

附 則

この改正学則は平成9年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成10年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成11年4月1日から施行する。

附 則

1. この改正学則は平成12年4月1日から施行する。

2. 平成11年度以前に入学した者については第3条、第19条および第20条の規定にかかわらず従前の例による。

3. 第21条の規定にかかわらず入学定員は、平成12年度から平成15年度までの間は、次のとおりとする。

	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
家政学部				
被服学科	98 名	96 名	94 名	92 名
食物栄養学科				
食物学専攻	39 名	38 名	37 名	36 名
管理栄養士専攻	50 名	50 名	50 名	50 名
生活美術学科				
美術専攻	49 名	48 名	47 名	46 名
建築専攻	49 名	48 名	47 名	46 名
文芸学部				
文学専攻	310 名	300 名	290 名	280 名
芸術学専攻	80 名	80 名	80 名	80 名
国際文化学部				
国際文化学科	245 名	240 名	235 名	230 名

附 則

この改正学則は平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1. この改正学則は平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 14 年度以前に入学した者については第 13 条の 3、第 19 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 15 年度以前に入学した者については、第 13 条、第 14 条から第 15 条の 2 および第 19 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 16 年度以前に入学したものについては、第 14 条、第 15 条の 2、第 20 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。
3. 第 21 条の規定にかかわらず、家政学部 食物栄養学科 食物学専攻の収容定員は、平成 17 年度 153 名、平成 18 年度 161 名、平成 19 年度 170 名とする。
4. 第 21 条の規定にかかわらず、文芸学部 文学専攻の収容定員は、平成 17 年度 1,090 名、平成 18 年度 1,050 名、平成 19 年度 1,020 名および芸術学専攻の収容定員は、平成 17 年度 340 名、平成 18 年度 360 名、平成 19 年度 380 名とする。

附 則

この学則は、平成 18 年 1 月 31 日から施行し、但し、第 23 条の 6 項は平成 18 年度入学試

験から適用する。

附 則

1. この改正学則は平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 17 年度以前に入学した者については、第 14 条、第 19 条および第 46 条の別表第 1 1 の 1 の納入額の規定に係わらず従前の例による。但し、第 1 4 条のうち、家政学部共通科目については平成 1 6 年度入学生より適用する。

附 則

1. この改正学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 23 条の規定は、平成 1 8 年 4 月 1 日より施行する。
2. 平成 18 年度以前に入学したものについては、第 2 条、第 3 条、第 13 条、第 13 条の 2、第 13 条の 3、第 14 条、第 15 条、第 15 条の 2、第 19 条、第 20 条、第 21 条、第 23 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

1. この改正学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 19 年度以前に入学したものについては、第 14 条、第 15 条、第 15 条の 2、第 19 条および第 46 条の規定にかかわらず従前の例による。

附 則

1. この改正学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 20 年度以前に入学した者については、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 21 年度以前に入学した者については、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 22 年度以前に入学した者については、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 23 年度以前に入学した者については、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 24 年度以前に入学したものについては、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 25 年度以前に入学した者については、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 26 年度以前に入学した者については、従前の例による。

3. 第 21 条の規定にかかわらず、家政学部児童学科の収容定員は、平成 27 年度 450 名、平成 28 年度 500 名、平成 29 年度 550 名とする。

附 則

1. この改正学則は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 27 年度以前に入学した者については、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 28 年度以前に入学した者については、従前の例による。

附 則

1. この改正学則は平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 29 年度以前に入学した者については、従前の例による。
3. 第 21 条の規定にかかわらず、家政学部食物栄養学科食物学専攻の収容定員は、平成 30 年度 190 名、平成 31 年度 200 名、平成 32 年度 210 名とし、建築・デザイン学科の収容定員は、平成 30 年度 370 名、平成 31 年度 380 名、平成 32 年度 390 名とする。

附 則

1. この改正学則は、平成 32 年 4 月 1 日から施行する。
2. 平成 31 年度以前に入学した者については、従前の例による。

別表第1

家政学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己実現	2	
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎		2
情報処理		2
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A (リスニング・スピーキング)	2	
英語B (リーディング・ライティング)		2
アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現)		2
アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)		2
アドバンスト英語C (TOEIC)		2
フランス語Ⅰ (入門)		2
フランス語Ⅱ (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
中国語Ⅰ (入門)		2
中国語Ⅱ (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
ドイツ語Ⅰ (入門)		2
ドイツ語Ⅱ (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
韓国語Ⅰ (入門)		2
韓国語Ⅱ (表現)		2
スペイン語Ⅰ (入門)		2
スペイン語Ⅱ (表現)		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2

授業科目	必修	選択
芸術をひらく		2
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2
自己開発		2
法律を学ぶ（日本国憲法）		2
法律を学ぶ（概論）		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待		2
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
健康スポーツ演習		1
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
協働とリーダーシップコア		
現代社会の諸課題（経済・産業）		2
現代社会の諸課題（環境・科学）		2
現代社会の諸課題（文化・芸術）		2
現代社会の諸課題（生活・地域）		2
現代社会の諸課題（メディア・表現）		2
教養総合ワークショップA		4
教養総合ワークショップB		4
ワークショップファシリテーション		2

授業科目	必修	選択
専門教育科目		
家政学部共通科目		
家政学原論Ⅰ		2
家政学原論Ⅱ		2
家庭経営学Ⅰ		2
家庭経営学Ⅱ		2
消費者経済学		2
生活関連法規		2
家族関係学		2
人間形成の心理学		2
児童文化論		2
保育学		2
社会福祉論		2
人間学		2
高齢者論		2
被服学概論		2
食物学概論		2
住居学概論		2
考古学		2
環境学概論		2
統計学		2
家庭電気・機械		2

授業科目	必修	選択
被服学科		
被服材料学Ⅰ		2
被服材料学Ⅱ		2
被服材料学実験Ⅰ		1
被服材料学実験Ⅱ		1
繊維学実験		2
被服管理学Ⅰ		2
被服管理学Ⅱ		2
被服管理学実験Ⅰ		1
被服管理学実験Ⅱ		1
染色加工学		2
染色実習		1
染織品保存科学		2
被服造形学		2
被服人間工学演習		2
被服パターン設計演習Ⅰ		2
被服パターン設計演習Ⅱ		2
被服パターン設計演習Ⅲ		2
アパレル生産実習立体Ⅰ		1
アパレル生産実習立体Ⅱ		2
アパレル生産実習立体Ⅲ		2
立体裁断		1
アパレル消費科学		2
被服心理学		2
被服マーケティング演習		2
消費衣生活論		2
消費者調査法		2
マーケティング論		2
アパレル販売論		2
ファッションビジネス論		2
アパレルデータ解析Ⅰ		2
アパレルデータ解析Ⅱ		2
被服衛生学		2
被服環境学		2
化粧品科学概論		2
コスメティックマーケティング論		2
アパレルグラフィックスⅠ		2
アパレルグラフィックスⅡ		2
被服デザインⅠ		2

授業科目	必修	選択
被服デザインⅡ		2
デザイン計画学Ⅰ		2
デザイン計画学Ⅱ		2
デザイン企画		4
色彩デザイン		2
アパレルCADⅠ		2
アパレルCADⅡ		2
アパレルCADⅢ		2
染織文化史		2
東洋服装史		2
西洋服装史		2
染織品保存修復論		2
染織品保存修復実習		1
被服平面造形学		2
伝統染織技法実習（和裁Ⅰ）		1
伝統染織技法実習（和裁Ⅱ）		2
伝統染織技法実習（和裁Ⅲ）		2
テキスタイルアドバイザー実習		1
卒業論文		6
卒業制作		6
卒業演習		4
被服造形学実習（教職）		2

授業科目	必修	選択
食物栄養学科 食物学専攻		
食品物理化学	2	
基礎生物学	2	
化学実験Ⅰ	1	
化学実験Ⅱ	1	
生物学実験	1	
有機化学	2	
生化学	2	
生理学	2	
微生物学	2	
食物情報処理演習		2
食品学	2	
応用食品学	2	
食品学実験	1	
応用食品学実験	1	
食品の鑑別（統計処理演習を含む）		2
食品衛生学	2	
食品衛生学実験	1	
食品分析学	2	
食品バイオテクノロジー		2
食と安全		2
健康科学概論	2	
ライフステージと栄養		2
栄養と健康		2
スポーツ栄養論		2
栄養学	2	
食品機能学	2	
栄養学実験	1	
公衆衛生学	2	
食と環境		2
調理学	2	
調理学実習Ⅰ	1	
調理学実習Ⅱ		1
調理学実験		1
調理科学		2
食事計画・評価論		2
伝統食品・調理論		2
伝統食品・調理論実習		1
食文化概論	2	

授業科目	必修	選択
食物史		2
食器論		2
比較食文化論		2
食物特別講義		2
食料経済		2
食資源論		2
製品開発論		2
卒業論文		6
卒業演習		4
食物栄養学科 管理栄養士専攻		
食品物理化学	2	
基礎生物学	2	
化学実験 I	1	
化学実験 II	1	
生物学実験	1	
有機化学	2	
健康管理概論(社会福祉概論を含む)	2	
公衆衛生学 I	2	
公衆衛生学 II	2	
生化学 I	2	
生化学 II	2	
生化学実験 I	1	
生化学実験 II	1	
病理学 I	2	
病理学 II	2	
解剖生理学 I	2	
解剖生理学 II	2	
解剖生理学実験 I	1	
解剖生理学実験 II	1	
運動生理学		2
微生物学・免疫学	2	
食品学総論	2	
食品学総論実験 I	1	
食品学総論実験 II	1	
食品衛生学	2	
食品衛生学実験	1	
食品利用学	2	
食品利用学実習	1	
調理学	2	

授業科目	必修	選択
調理学実習 I	1	
調理学実習 II	1	
基礎栄養学	2	
基礎栄養学実験	1	
応用栄養学 I	2	
応用栄養学 II	2	
応用栄養学 III	2	
応用栄養学実習	1	
栄養教育論 I	2	
栄養教育論 II	2	
栄養教育論実習	1	
栄養教育論演習	2	
学校栄養教育論 I		2
学校栄養教育論 II		2
臨床栄養学 I	2	
臨床栄養学 II	2	
臨床栄養学 III	2	
臨床栄養学 IV	2	
臨床栄養学実験	1	
臨床栄養学実習	1	
公衆栄養学 I	2	
公衆栄養学 II	2	
公衆栄養学実習	1	
給食経営管理論 I (給食計画・実務論を含む)	2	
給食経営管理論 II	2	
給食経営管理実習 I	1	
給食経営管理実習 II	1	
総合演習	2	
臨地実習 I (校外実習)	1	
臨地実習 II	3	
卒業論文		6
卒業演習		4

授業科目	必修	選択
建築・デザイン学科		
学科共通科目		
エコデザイン論		2
色彩学		2
デザイン概論 I		2
デザイン概論 II		2
近代デザイン史		2
人間工学		2
ユニバーサルデザイン論		2
メディア概論		2
商品企画情報論		2
家具論		2
照明論		2
インテリアデザイン論		2
住居史 I		2
住居史 II		2
住生活論		2
建築史 I		2
建築史 II		2
環境心理学		2
平面構成演習 I		2
平面構成演習 II		2
立体構成演習 I		2
立体構成演習 II		2
観察・描写		2
建築&デザイン総合演習		2
プレゼンテーションテクニック		2
写真基礎演習		2
木工演習 I		2
木工演習 II		2
領域別講義科目		
建築概論		2
建築材料学（実験含む）		2
建築法規		2
建築構法		2
建築施工		2
まちづくり論		2
環境工学		2
建築設備		2

授業科目	必修	選択
構造力学Ⅰ		2
構造力学Ⅱ		2
構造計画		2
構造設計		2
建築計画学Ⅰ		2
建築計画学Ⅱ		2
建築積算		2
造園		2
ビジュアルコミュニケーション論		2
領域別演習実験科目		
建築図学Ⅰ		2
建築図学Ⅱ		2
建築・インテリア演習Ⅰ		2
建築・インテリア演習Ⅱ		2
建築総合演習		2
建築CAD演習Ⅰ		2
建築CAD演習Ⅱ		2
建築設計演習Ⅰ		2
建築設計演習Ⅱ		2
建築設計演習Ⅲ		2
建築設計演習Ⅳ		2
建築設計演習Ⅴ		2
インテリアデザイン演習Ⅰ		2
インテリアデザイン演習Ⅱ		2
インテリアデザイン演習Ⅲ		2
インテリアデザイン演習Ⅳ		2
インテリアデザイン演習Ⅴ		2
デッサンⅠ		2
デッサンⅡ		2
図学Ⅰ		2
モデリング演習		2
レンダリング演習Ⅰ		2
レンダリング演習Ⅱ		2
版画演習		2
図学Ⅱ(3D)		2
CG演習(基礎)Ⅰ		2
CG演習(基礎)Ⅱ		2
CG演習(応用)Ⅰ		2
CG演習(応用)Ⅱ		2

授業科目	必修	選択
木工演習Ⅲ		2
木工演習Ⅳ		2
陶芸演習		2
写真演習Ⅰ		2
写真演習Ⅱ		2
イラストレーションテクニック		2
映像演習		2
メタルクラフト演習		2
グラフィックデザイン基礎演習Ⅰ		2
グラフィックデザイン基礎演習Ⅱ		2
グラフィックデザイン演習Ⅰ		2
グラフィックデザイン演習Ⅱ		2
グラフィックデザイン演習Ⅲ		2
プロダクトデザイン基礎演習Ⅰ		2
プロダクトデザイン基礎演習Ⅱ		2
プロダクトデザイン演習Ⅰ		2
プロダクトデザイン演習Ⅱ		2
プロダクトデザイン演習Ⅲ		2
ゼミナール 卒業論文 卒業制作		
ゼミナール		4
卒業論文・卒業制作Ⅰ（研究）	2	
卒業論文・卒業制作Ⅱ	4	

授業科目	必修	選択
児童学科		
児童学基礎演習	2	
発達心理学	2	
子ども家庭支援の心理学		2
教育心理学	2	
子ども理解の方法		2
教育相談の理論と方法		2
障害児保育		2
生活科教育		2
子ども家庭支援論		2
子育て支援		1
教育原理	2	
保育原理	2	
保育者論		2
保育内容総論	1	
教職論		2
乳児保育Ⅰ		2
乳児保育Ⅱ		1
子どもと健康		2
子どもと人間関係		2
子どもと言葉		2
保育内容（人間関係）		1
保育内容（環境）		1
保育内容（健康）		1
保育内容（言葉）		1
保育内容（表現）		1
音楽基礎	2	
音楽表現		2
造形基礎	2	
造形表現		1
子どもと児童文化		1
教育方法論		2
子どもの保健		2
子どもの食と栄養		2
子どもの健康と安全		1
体育基礎	2	
身体表現		1
現代社会福祉論		2
子ども家庭福祉		2

授業科目	必修	選択
社会的養護Ⅰ		2
社会的養護Ⅱ		1
保育・子育て支援実践演習Ⅰ		2
保育・子育て支援実践演習Ⅱ		2
保育・教職実践演習（初等）		2
課題ゼミナール	2	
卒業研究	4	
教育制度論		2
保育の計画と評価		2
教育課程論		2
保育実習Ⅰ（保育所）		2
保育実習Ⅰ（施設）		2
保育実習Ⅰ（保育所）事前事後指導		1
保育実習Ⅰ（施設）事前事後指導		1
保育実習Ⅱ（保育所）		2
保育実習Ⅱ（事前事後指導）		1
保育実習Ⅲ（施設）		2
保育実習Ⅲ（事前事後指導）		1
国語科教育		2
社会科教育		2
算数科教育		2
理科教育		2
家庭科教育		2
初等教科教育法（国語）		2
初等教科教育法（社会）		2
初等教科教育法（算数）		2
初等教科教育法（理科）		2
初等教科教育法（生活）		2
初等教科教育法（音楽）		2
初等教科教育法（図画工作）		2
初等教科教育法（家庭）		2
初等教科教育法（体育）		2
初等教科教育法（外国語）		2
道徳の指導法		2
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2
生徒・進路指導の理論と方法		2
児童英語		2
特別支援教育		1
幼稚園教育実習Ⅰ（事前事後指導）		1

授業科目	必修	選択
幼稚園教育実習Ⅱ（事前事後指導）		1
幼稚園教育実習Ⅰ		2
幼稚園教育実習Ⅱ		2
小学校教育実習（事前事後指導）		1
小学校教育実習		4

別表第2

削除

別表第3

削除

別表第 5

文芸学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己実現	2	
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎	2	
情報処理	2	
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A (リスニング・スピーキング)	2	
英語B (リーディング・ライティング)		2
アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現)		2
アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)		2
アドバンスト英語C (TOEIC)		2
フランス語 I (入門)		2
フランス語 II (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
中国語 I (入門)		2
中国語 II (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
ドイツ語 I (入門)		2
ドイツ語 II (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
韓国語 I (入門)		2
韓国語 II (表現)		2
スペイン語 I (入門)		2
スペイン語 II (表現)		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2

授業科目	必修	選択
芸術をひらく		2
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2
自己開発		2
法律を学ぶ（日本国憲法）		2
法律を学ぶ（概論）		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待		2
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
協働とリーダーシップコア		
現代社会の諸課題（経済・産業）		2
現代社会の諸課題（環境・科学）		2
現代社会の諸課題（文化・芸術）		2
現代社会の諸課題（生活・地域）		2
現代社会の諸課題（メディア・表現）		2
教養総合ワークショップA		4
教養総合ワークショップB		4
ワークショップファシリテーション		2
専門基礎分野		
文芸ゼミナール	2	
外国語科目		
英語Ⅲ		2
英語Ⅳ		2
ポピュラーカルチャーの英語		2
メディアの英語		2
英語翻訳で読む日本文学		2

授業科目	必修	選択
基礎から学ぶ英文法		2
生活英会話		2
資格英語A		1
資格英語B		1
CALL		1
基礎フランス語会話 I		1
基礎フランス語会話 II		1
応用フランス語会話 I		1
応用フランス語会話 II		1
ギリシャ語		4
ラテン語		4
メディア		
CG基礎実習A		1
CG基礎実習B		1
Web基礎実習A		1
Web基礎実習B		1
DTP基礎実習A		1
DTP基礎実習B		1
DTM・オーディオ基礎実習		1
デジタルビデオ基礎実習		1
プログラミング実習		1
コンピュータ科学		2
コンピュータネットワーク論		2
情報システム論		2
自己表現実習		1
プレゼンテーション実習		1
身体メディア実習		1
芸術メディア実習 I		1
芸術メディア実習 II		1
造形実技		
デッサン演習 I		4
絵画演習 I		4
彫刻演習 I		4
概論		
日本語学概論A		2
日本語学概論B		2
日本文学概論A		2
日本文学概論B		2
英米文学概論A		2

授業科目	必修	選択
英米文学概論B		2
英語学概論		2
英米文化概論A		2
英米文化概論B		2
フランス文学概論A		2
フランス文学概論B		2
フランス文化概論		2
フランス語学概論 I		2
フランス語学概論 II		2
劇芸術概論A		2
劇芸術概論B		2
劇芸術概論C		2
劇芸術概論D		2
日本美術史概論		4
東洋美術史概論		4
西洋美術史概論		4
文芸教養概論A		2
文芸教養概論B		2
文芸教養概論C		2
文芸メディア概論A		2
文芸メディア概論B		2
翻訳概論		2
児童文学概論		2
専門分野 I		
日本文学各論A		4
日本文学各論B		4
日本文学各論C		4
日本文学各論D		4
日本語学各論A		4
日本語学各論B		4
漢文学概論A		2
漢文学概論B		2
英米文学研究A		4
英米文学研究B		4
英米文学各論A		2
英米文学各論B		2
英米文学各論C		2
英米文学各論D		2
英米文学各論E		2

授業科目	必修	選択
英米文学各論F		2
英語学各論A		2
英語学各論B		2
英語ライティング演習 I		1
英語ライティング演習 II		1
フランス文学各論		2
フランス文化各論		2
フランス語圏文学研究		2
フランス語学各論 I		2
フランス語学各論 II		2
フランス文学原書講読 I		1
フランス文学原書講読 II		1
フランス文化原書講読 I		1
フランス文化原書講読 II		1
日本演劇史 I		4
日本演劇史 II		4
演劇論A		2
演劇論B		2
演劇論C		2
劇場論A		2
劇場論B		2
舞台美術論		4
舞踊論A		2
舞踊論B		2
放送ドラマ論A		4
放送ドラマ論B		4
放送ドラマ論C		4
映画論A		4
映画論B		4
映画論C		4
日本美術史各論A		2
日本美術史各論B		2
東洋美術史各論A		2
東洋美術史各論B		2
西洋美術史各論A		2
西洋美術史各論B		2
日本美術史演習		2
西洋美術史演習		2
デッサン演習 II		4

授業科目	必修	選択
絵画演習Ⅱ		4
彫刻演習Ⅱ		4
絵画技法基礎演習		4
風土と文芸A		2
風土と文芸B		2
風土と文芸C		2
辺境と文芸A		2
辺境と文芸B		2
辺境と文芸C		2
都市と文芸A		2
都市と文芸B		2
都市と文芸C		2
戦争と文芸A		2
戦争と文芸B		2
戦争と文芸C		2
宗教と文芸A		2
宗教と文芸B		2
宗教と文芸C		2
女性と文芸A		2
女性と文芸B		2
女性と文芸C		2
メディアと文芸A		2
メディアと文芸B		2
メディアと文芸C		2
メディア文化論A		2
メディア文化論B		2
メディア文化論C		2
メディア社会論A		2
メディア社会論B		2
メディア社会論C		2
電子出版論		2
図書館概論		2
図書及び図書館史		2
ジャーナリズム論		2
メディア教育論		2
ネットワークコミュニケーション論		2
専門分野Ⅱ		
文芸総合研究A		2
文芸総合研究B		2

授業科目	必修	選択
文芸総合研究C		2
文芸総合研究D		2
日本文学講読A		1
日本文学講読B		1
日本文学演習 I A		2
日本文学演習 I B		2
日本文学演習 I C		2
日本文学演習 I D		2
日本文学演習 II A		2
日本文学演習 II B		2
日本文学演習 II C		2
日本文学演習 II D		2
日本語学演習 I A		2
日本語学演習 I B		2
日本語学演習 I C		2
日本語学演習 II A		2
日本語学演習 II B		2
日本語学演習 II C		2
英語英米文学演習 I A		1
英語英米文学演習 I B		1
英語英米文学演習 I C		1
英語英米文学演習 I D		1
英語英米文学演習 I E		1
英語英米文学演習 I F		1
英語英米文学演習 II A		1
英語英米文学演習 II B		1
英語英米文学演習 II C		1
英語英米文学演習 II D		1
英語英米文学演習 II E		1
英語英米文学演習 II F		1
英語英米文学プレゼミ		2
英米文化各論A		2
英米文化各論B		2
英米文化演習A		1
英米文化演習B		1
日英米比較文化		2
英米文学小説講読A		2
英米文学小説講読B		2
英米詩講読		1
英米戯曲講読		1
英語翻訳演習 I		1
英語翻訳演習 II		1
英語プレゼンテーション演習		1

授業科目	必修	選択
英語ディスカッション演習		1
フランス語表現法 I		1
フランス語表現法 II		1
フランス文学演習 I		1
フランス文化演習 I		1
フランス文学演習 II		1
フランス文化演習 II		1
フランス語フランス文学演習		1
フランス語コミュニケーション演習 I		1
フランス語コミュニケーション演習 II		1
日仏比較文化		2
劇芸術演習 I A		2
劇芸術演習 I B		2
劇芸術演習 I C		2
劇芸術演習 I D		2
劇芸術演習 II A		2
劇芸術演習 II B		2
劇芸術演習 II C		2
劇芸術演習 II D		2
ドラマ創作		4
発声朗読法		2
舞台演習		2
造形芸術演習A		1
造形芸術演習B		1
建築史		4
現代美術論A		2
現代美術論B		2
デザイン論A		2
デザイン論B		2
造形表現演習		4
工芸演習（木工芸・陶芸）		4
版画実習		2
書道		2
文芸教養演習 I A		2
文芸教養演習 I B		2
文芸教養演習 I C		2
文芸教養演習 I D		2
文芸教養演習 I E		2
文芸教養演習 I F		2

授業科目	必修	選択
文芸教養演習 I G		2
文芸教養演習 II A		2
文芸教養演習 II B		2
文芸教養演習 II C		2
文芸教養演習 II D		2
文芸教養演習 II E		2
文芸教養演習 II F		2
文芸教養演習 II G		2
文芸教養演習 II H		2
現代文化論A		4
現代文化論B		4
現代文化論C		4
比較文学論		4
比較芸術論		4
現代思想論A		2
現代思想論B		2
現代思想論C		2
文芸メディア演習 I A		2
文芸メディア演習 I B		2
文芸メディア演習 I C		2
文芸メディア演習 I D		2
文芸メディア演習 I E		2
文芸メディア演習 I F		2
文芸メディア演習 II A		2
文芸メディア演習 II B		2
文芸メディア演習 II C		2
文芸メディア演習 II D		2
文芸メディア演習 II E		2
文芸メディア演習 II F		2
メディア応用実習A		1
メディア応用実習B		1
メディア応用実習C		1
メディア応用実習D		1
メディア応用実習E		1
コンピュータネットワーク実習		1
情報システム実習		1
情報検索演習		1
卒業論文・卒業制作ゼミナール	2	
卒業論文・卒業制作	6	

授業科目	必修	選択
その他資格関連科目（卒業要件外）		
図書館司書課程科目		
図書館制度・経営論		2
図書館情報技術論		2
図書館サービス概論		2
情報サービス論		2
児童サービス論		2
情報サービス演習		1
図書館情報資源概論		2
情報資源組織論		2
情報資源組織論演習A		1
情報資源組織論演習B		1
図書館基礎特論		2
図書館サービス特論		2
図書館情報資源特論		2
図書館実習		1

別表第10の1 国際学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己実現	2	
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎		2
情報処理		2
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A（リスニング・スピーキング）	2	
英語B（リーディング・ライティング）		2
アドバンスト英語A（ビジネス口頭表現）		2
アドバンスト英語B（ビジネス文章表現）		2
アドバンスト英語C（TOEIC）		2
フランス語Ⅰ（入門）		2
フランス語Ⅱ（表現）		2
応用フランス語（総合）		2
中国語Ⅰ（入門）		2
中国語Ⅱ（表現）		2
応用中国語（総合）		2
ドイツ語Ⅰ（入門）		2
ドイツ語Ⅱ（表現）		2
応用ドイツ語（総合）		2
韓国語Ⅰ（入門）		2
韓国語Ⅱ（表現）		2
スペイン語Ⅰ（入門）		2
スペイン語Ⅱ（表現）		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語（留学生対象）		2
応用日本語（留学生対象）		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2
芸術をひらく		2

授業科目	必修	選択
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2
自己開発		2
法律を学ぶ（日本国憲法）		2
法律を学ぶ（概論）		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待		2
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
協働とリーダーシップコア		
現代社会の諸課題（経済・産業）		2
現代社会の諸課題（環境・科学）		2
現代社会の諸課題（文化・芸術）		2
現代社会の諸課題（生活・地域）		2
現代社会の諸課題（メディア・表現）		2
教養総合ワークショップA		4
教養総合ワークショップB		4
ワークショップファシリテーション		2
外国語等科目		
英語		
基礎		
英語中級ⅠA		1
英語中級ⅠB		1
英語中級ⅡA		1
英語中級ⅡB		1
英語上級ⅠA		1
英語上級ⅠB		1

授業科目	必修	選択
英語上級Ⅱ A		1
英語上級Ⅱ B		1
英語上級Ⅲ A		1
英語上級Ⅲ B		1
資格英語Ⅰ (TOEIC)		1
資格英語Ⅱ (TOEIC)		1
資格英語Ⅲ (TOEIC)		1
資格英語Ⅳ (TOEFL)		1
時事英語Ⅰ (ジャーナル)		1
時事英語Ⅱ (メディア)		1
専門		
英語特別演習Ⅰ (プレゼンテーション・ディスカッション)		1
英語特別演習Ⅱ (アカデミック・リーディング)		1
英語特別演習Ⅲ (アカデミック・リーディング)		1
英語特別演習Ⅳ (通訳) A		1
英語特別演習Ⅳ (通訳) B		1
英語特別演習Ⅴ (アカデミック・ライティング) A		1
英語特別演習Ⅴ (アカデミック・ライティング) B		1
English Seminar		1
フランス語		
基礎		
フランス語初級A		1
フランス語初級B		1
フランス語中級Ⅰ (文法) A		1
フランス語中級Ⅰ (文法) B		1
フランス語中級Ⅱ (講読) A		1
フランス語中級Ⅱ (講読) B		1
フランス語中級Ⅲ (会話) A		1
フランス語中級Ⅲ (会話) B		1
専門		
フランス語特別演習Ⅰ (上級会話)		1
フランス語特別演習Ⅱ (上級会話)		1
フランス語特別演習Ⅲ (上級講読)		1
フランス語特別演習Ⅳ (上級講読)		1
フランス語特別演習Ⅴ (上級講読)		1
フランス語特別演習Ⅵ (上級講読)		1
フランス語特別演習Ⅶ (総合)		1
フランス語特別演習Ⅷ (総合)		1
中国語		

授業科目	必修	選択
基礎		
中国語初級A		1
中国語初級B		1
中国語中級I(文法)A		1
中国語中級I(文法)B		1
中国語中級II(講読)A		1
中国語中級II(講読)B		1
中国語中級III(会話)A		1
中国語中級III(会話)B		1
専門		
中国語特別演習I(上級会話)		1
中国語特別演習II(上級会話)		1
中国語特別演習III(上級講読)		1
中国語特別演習IV(上級講読)		1
中国語特別演習V(資格対策)		1
中国語特別演習VI(資格対策)		1
中国語特別演習VII(総合)		1
中国語特別演習VIII(総合)		1
ドイツ語		
基礎		
ドイツ語初級A		1
ドイツ語初級B		1
ドイツ語中級A		1
ドイツ語中級B		1
イタリア語		
基礎		
イタリア語初級A		1
イタリア語初級B		1
イタリア語中級A		1
イタリア語中級B		1
日本語		
基礎		
日本事情(留学生対象)		2
日本語I A(留学生対象)		1
日本語I B(留学生対象)		1
日本語II A(留学生対象)		1
日本語II B(留学生対象)		1
専門		
日本語学概論I		2

授業科目	必修	選択
日本語学概論Ⅱ		2
日本語学各論Ⅰ(文字・表記)		2
日本語学各論Ⅱ(音韻・音声)		2
日本語学各論Ⅲ(文法)		2
日本語学各論Ⅳ(日本語史)		2
専門基礎科目		
入門演習		
国際入門演習	2	
総合基礎		
国際学入門Ⅰ		2
国際学入門Ⅱ		2
国際学入門Ⅲ		2
国際文化論		2
比較文化論Ⅰ		2
比較文化論Ⅱ		2
国際関係論Ⅰ		2
国際関係論Ⅱ		2
国際基礎		
現代社会と歴史Ⅰ		2
現代社会と歴史Ⅱ		2
現代社会と思想・宗教Ⅰ		2
現代社会と思想・宗教Ⅱ		2
地域情報分析の基礎		2
世界の地誌Ⅰ(日本・中国)		2
世界の地誌Ⅱ(ヨーロッパ)		2
世界の地誌Ⅲ(アメリカ)		2
Topics in Japanese Society		2
Topics in US Society		2
Topics in UK Society		2
国際コミュニケーション論Ⅰ		2
国際コミュニケーション論Ⅱ		2
国際コミュニケーション論Ⅲ		2
現代社会と文学Ⅰ		2
現代社会と文学Ⅱ		2
現代社会と芸術Ⅰ		2
現代社会と芸術Ⅱ		2
Cross-Cultural Communication		2
Communication in a Global Environment		2
国際関係史Ⅰ		2

授業科目	必修	選択
国際関係史 II		2
国際協力論		2
世界経済入門 I		2
世界経済入門 II		2
経済分析の基礎 I		2
経済分析の基礎 II		2
政治分析の基礎		2
社会情報分析の基礎		2
Introduction to Global Issues I (Business)		2
Introduction to Global Issues I I (Entrepreneurship)		2
ジェンダー関係科目		
ジェンダー論 I (表象)		2
ジェンダー論 II (法律・経済と労働)		2
ジェンダー論 III (セクシュアリティ)		2
ジェンダー論 IV (地域と階層)		2
専門科目		
エリア・スタディーズ科目群		
日本の歴史 I		2
日本の歴史 II		2
日本の思想・宗教		2
日本の社会 I		2
日本の社会 II		2
日本の政治経済		2
中国の歴史 I		2
中国の歴史 II		2
中国の思想・宗教		2
中国の社会 I		2
中国の社会 II		2
中国の政治経済		2
アジア地域論 I (東アジア)		2
アジア地域論 II (東南アジア)		2
アジア地域論 III (南・西アジア)		2
ヨーロッパの歴史 I		2
ヨーロッパの歴史 II		2
ヨーロッパの思想・宗教		2
ヨーロッパの社会 I		2
ヨーロッパの社会 II		2
ヨーロッパの政治経済		2
ヨーロッパ地域論 I (イギリス)		2

授業科目	必修	選択
ヨーロッパ地域論Ⅱ(フランス)		2
ヨーロッパ地域論Ⅲ(ドイツ・中欧)		2
ヨーロッパ地域論Ⅳ(地中海)		2
ヨーロッパ地域論Ⅴ(東欧・北欧)		2
アメリカの歴史Ⅰ		2
アメリカの歴史Ⅱ		2
アメリカの思想・宗教		2
アメリカの社会Ⅰ		2
アメリカの社会Ⅱ		2
アメリカの社会Ⅲ		2
アメリカの政治経済		2
アメリカ地域論Ⅰ(北米)		2
アメリカ地域論Ⅱ(中南米)		2
Contemporary Global Issues II (Japan and Globalization)		2
Japanese Society from a Comparative Perspective		2
Tourism in Japan		2
コミュニケーション・スタディーズ科目群		
コミュニケーション論Ⅰ(ジェンダー)		2
コミュニケーション論Ⅱ(通訳・翻訳)		2
コミュニケーション論Ⅲ(映像メディアと情報)		2
コミュニケーション論Ⅳ(ジャーナリズム)		2
コミュニケーション論Ⅴ(日本)		2
コミュニケーション論Ⅵ(中国)		2
コミュニケーション論Ⅶ(ヨーロッパ)		2
コミュニケーション論Ⅷ(アメリカ)		2
英語学概論		2
対照言語学		2
社会言語学		2
第2言語習得論		2
表象文化論Ⅰ(日本)		2
表象文化論Ⅱ(中国)		2
表象文化論Ⅲ(ヨーロッパ1)		2
表象文化論Ⅳ(ヨーロッパ2)		2
表象文化論Ⅴ(アメリカ)		2
映像文化論		2
日本の文学		2
中国の文学		2
英語圏の文学		2
ヨーロッパ大陸の文学		2

授業科目	必修	選択
アメリカの文学		2
比較文化Ⅰ（アジア）		2
比較文化Ⅱ（ヨーロッパ）		2
比較文化Ⅲ（アメリカ）		2
Japan and the Japanese in Western Writings		2
International Business Communication I		2
International Business Communication II		2
グローバル・スタディーズ科目群		
国際法Ⅰ		2
国際法Ⅱ		2
国際組織論		2
国際人権論		2
政治学特論		2
ミクロ経済学Ⅰ		2
ミクロ経済学Ⅱ		2
マクロ経済学		2
国際経済学Ⅰ		2
国際経済学Ⅱ		2
開発経済学		2
経済学特論		2
国際マーケティング		2
国際ビジネス事情Ⅰ		2
国際ビジネス事情Ⅱ		2
紛争解決論		2
平和構築論		2
社会開発論		2
地球環境論		2
国際環境協力論		2
国際協力とNPO		2
国際文化交流論		2
国際文化財保護論		2
アジア太平洋の国際関係Ⅰ		2
アジア太平洋の国際関係Ⅱ		2
アジア太平洋の経済		2
ヨーロッパの国際関係Ⅰ		2
ヨーロッパの国際関係Ⅱ		2
ヨーロッパの経済		2
アメリカと世界Ⅰ		2
アメリカと世界Ⅱ		2

授業科目	必修	選択
イスラムと世界 I		2
イスラムと世界 II		2
Readings in Global Issues		2
Readings in Global Business		2
Contemporary Global Issues I (Economy and Business)		2
Contemporary Global Issues III (US Society and UK Society)		2
国際特論		
国際特論 I		2
国際特論 II		2
国際特論 III		2
基礎演習		
国際基礎演習 I	2	
国際基礎演習 II	2	
専門演習		
国際専門演習	4	
卒研演習		
国際卒研演習	2	
卒業研究		
卒業研究	6	
関連科目		
法令・財務科目群		
公務員志望者のための公法		2
公務員志望者のための私法		2
企業法務		2
企業会計と財務		2
法令の解釈と作成		2
その他		
海外事情/フィールドワーク		2
インターンシップ実習		2

別表第10の2

国際学部

日本語教師養成課程に関する科目

授業科目	必修	選択
日本語教育研究Ⅰ		4
日本語教育研究Ⅱ		4
日本語教育実習		1

別表第10の3

削除

別表第10の4

削除

別表第10の5

削除

別表第11の1

家政学部 文芸学部 国際学部

教職に関する科目

授業科目	必修	選択	
教職入門		2	教職に関する科目は、共通開設のため、履修については所属学部において免許状ごとに認定を受けた教職課程の規定に従うこと
教育学概論		2	
発達と学習		2	
教育の制度と経営		2	
教育課程の意義と編成		2	
家庭科教育の理論と方法		4	
家庭科教育の理論と実践		4	
国語科教育の理論と方法		4	
国語科教育の理論と実践		4	
英語科教育の理論と方法		4	
英語科教育の理論と実践		4	
仏語科教育の理論と方法		4	
仏語科教育の理論と実践		4	
美術科教育の理論と方法		4	
美術科教育の理論と実践		4	
情報科教育の理論と方法		2	
情報科教育の理論と実践		2	
社会科教育の理論と指導		4	
地理歴史科教育の理論と指導		4	
公民科教育の理論と指導		4	
道徳教育の理論と指導		2	
総合的な学習の時間・特別活動の理論と指導		2	
教育の方法と技術		2	
生徒指導（進路指導を含む）		2	
生徒指導（栄養教諭）		2	
教育相談（カウンセリングを主とする）		2	
教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）		5	
教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）		3	
栄養教育実習（事前・事後指導を含む）		2	
教職実践演習（中・高）		2	
教職実践演習（栄養教諭）		2	

別表第11の2

家政学部 文芸学部 国際学部

司書教諭に関する科目

授業科目	必修	選択	司書教諭に関する科目は共通開設のため、履修については所属学部における規定に従うこと
学校経営と学校図書館		2	
学校図書館メディアの構成		2	
学習指導と学校図書館		2	
読書と豊かな人間性		2	
情報メディアの活用		2	

別表第11の3

家政学部 文芸学部 国際学部

学芸員に関する科目

授業科目	必修	選択	学芸員に関する科目は共通開設のため、履修については所属学部における規定に従うこと
生涯学習概論		2	
博物館学概論		2	
博物館経営論		2	
博物館資料論		2	
博物館資料保存論		2	
博物館展示論		2	
博物館情報・メディア論		2	
博物館教育論		2	
博物館実習		3	

別表第12 看護学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎		2
情報処理	2	
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A（リスニング・スピーキング）	2	
英語B（リーディング・ライティング）		2
アドバンスト英語A（ビジネス口頭表現）		2
アドバンスト英語B（ビジネス文章表現）		2
アドバンスト英語C（TOEIC）		2
フランス語Ⅰ（入門）		2
フランス語Ⅱ（表現）		2
応用フランス語（総合）		2
中国語Ⅰ（入門）		2
中国語Ⅱ（表現）		2
応用中国語（総合）		2
ドイツ語Ⅰ（入門）		2
ドイツ語Ⅱ（表現）		2
応用ドイツ語（総合）		2
コリア語Ⅰ（入門）		2
コリア語Ⅱ（表現）		2
スペイン語Ⅰ（入門）		2
スペイン語Ⅱ（表現）		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語（留学生対象）		2
応用日本語（留学生対象）		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2
芸術をひらく		2
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2
自己開発		2

授業科目	必修	選択
法律を学ぶ（日本国憲法）		2
法律を学ぶ（概論）		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待	2	
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
協働とリーダーシップコア		
現代社会の諸課題（経済・産業）		2
現代社会の諸課題（環境・科学）		2
現代社会の諸課題（文化・芸術）		2
現代社会の諸課題（生活・地域）		2
現代社会の諸課題（メディア・表現）		2
教養総合ワークショップA		4
教養総合ワークショップB		4
ワークショップファシリテーション		2
専門教育科目		
専門基礎科目		
人体の構造と機能		
解剖生理学Ⅰ	2	
解剖生理学Ⅱ	2	
生化学	1	
病理学	2	
発達心理学	1	
微生物学	1	
栄養学	1	
薬理学	2	
病態と治療		
病態と治療Ⅰ（臓器疾患）	2	
病態と治療Ⅱ（全身システム疾患）	2	

授業科目	必修	選択
病態と治療Ⅲ（老年科疾患）	1	
病態と治療Ⅳ（産婦人科疾患）	1	
病態と治療Ⅴ（小児科疾患）	1	
病態と治療Ⅵ（精神科系疾患）	1	
看護の基盤		
看護学概論	2	
人間関係論	1	
看護倫理	1	
看護英語Ⅰ（コミュニケーション）		1
看護英語Ⅱ（リーディング）		1
社会と医療		
保健医療行政論	2	
多職種連携論	1	
看護統計	1	
保健統計	1	
疫学Ⅰ	1	
疫学Ⅱ		1
専門基幹科目		
基礎看護技術論	1	
ヘルスアセスメント論	1	
看護過程展開論	1	
日常生活援助技術論Ⅰ	1	
日常生活援助技術論Ⅱ	1	
医療支援技術論Ⅰ	1	
医療支援技術論Ⅱ	1	
基礎看護学実習Ⅰ	1	
基礎看護学実習Ⅱ	2	
成人看護学概論	1	
成人看護学援助論Ⅰ	2	
成人看護学援助論Ⅱ	2	
成人看護学援助演習Ⅰ	1	
成人看護学援助演習Ⅱ	1	
成人看護学実習Ⅰ	3	
成人看護学実習Ⅱ	3	
老年看護学概論	1	
老年看護学援助論	2	
老年看護学援助演習	1	
老年看護学実習Ⅰ（地域）	1	
老年看護学実習Ⅱ（施設）	1	
老年看護学実習Ⅲ（病院）	2	
小児看護学概論	1	

授業科目	必修	選択
小児看護学援助論	2	
小児看護学援助演習	1	
小児看護学実習	2	
母性看護学概論	1	
母性看護学援助論	2	
母性看護学援助演習	1	
母性看護学実習	2	
精神看護学概論	1	
精神看護学援助論	2	
精神看護学援助演習	1	
精神看護学実習	2	
在宅看護概論	1	
在宅看護援助論	2	
在宅看護援助演習	1	
地域看護学概論	2	
地域在宅看護学実習	2	
地域看護学援助演習	1	
公衆衛生看護展開論		2
看護研究法	1	
総合技術演習（OSCE）	1	
専門展開科目		
医療安全論		1
リハビリテーション看護論		1
家族看護学		1
がん看護論		1
災害看護論		1
エンドオブライフケア論		1
看護管理学		1
ペイシェントフローマネジメント論		1
学校保健・産業保健		1
認知症看護論		1
国際看護論		1
保健指導・健康教育論		1
公衆衛生看護管理論		1
健康危機管理論		1
統合科目		
看護学総合実習	2	
公衆衛生看護学実習		4
統合ケア演習	1	
卒業研究	2	

別表第13 ビジネス学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己実現	2	
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎		2
情報処理	2	
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A (リスニング・スピーキング)	2	
英語B (リーディング・ライティング)	2	
アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現)	2	
アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	2	
アドバンスト英語C (TOEIC)		2
フランス語 I (入門)		2
フランス語 II (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
中国語 I (入門)		2
中国語 II (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
ドイツ語 I (入門)		2
ドイツ語 II (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
コリア語 I (入門)		2
コリア語 II (表現)		2
スペイン語 I (入門)		2
スペイン語 II (表現)		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2
芸術をひらく		2
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2

授業科目	必修	選択
自己開発		2
法律を学ぶ（日本国憲法）		2
法律を学ぶ（概論）		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待		2
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
協働とリーダーシップコア		
現代社会の諸課題（経済・産業）		2
現代社会の諸課題（環境・科学）		2
現代社会の諸課題（文化・芸術）		2
現代社会の諸課題（生活・地域）		2
現代社会の諸課題（メディア・表現）		2
教養総合ワークショップA		4
ワークショップファシリテーション		2
専門基礎科目		
ビジネス入門	2	
経営基礎Ⅰ	2	
マーケティング基礎Ⅰ	2	
ミクロ経済学基礎Ⅰ	2	
会計基礎Ⅰ	2	
会計基礎Ⅱ	2	
リーダーシップ開発入門演習Ⅰ	2	
リーダーシップ開発入門演習Ⅱ	2	
専門基幹科目		
経営基礎Ⅱ	2	
経営組織論Ⅰ	2	
経営戦略論Ⅰ	2	
マーケティング基礎Ⅱ	2	

授業科目	必修	選択
流通論 I	2	
流通論 II	2	
統計学基礎演習 I	2	
統計学基礎演習 II	2	
ミクロ 経済学基礎 II	2	
マクロ 経済学基礎 I	2	
マクロ 経済学基礎 II	2	
財務会計 I	2	
財務会計 II	2	
原価計算 I	2	
原価計算 II	2	
リーダーシップ開発基礎演習	2	
専門発展科目		
現代経営事情		2
経営組織論 II		2
経営戦略論 II		2
人的資源管理論		2
中小企業論		2
国際経営論		2
コーポレート・ガバナンス		2
コンプライアンス経営論		2
ビジネスと法A		2
ビジネスと法B		2
現代マーケティング事情		2
消費者行動論 I		2
消費者行動論 II		2
マーケティング・コミュニケーション		2
マーケティング・リサーチ		2
ビジネスとプログラミング		2
ビッグデータ分析		2
現代金融・会計事情		2
公共経済学A		2
公共経済学B		2
金融論		2
国際金融論		2
国際貿易論		2
会計演習A		2
会計演習B		2
管理会計 I		2
管理会計 II		2
ファイナンス		2

授業科目	必修	選択
監査論		2
企業評価論		2
起業と会計		2
リーダーシップ開発応用演習		2
ファシリテーション基礎演習A		2
ファシリテーション基礎演習B		2
チームコーチング基礎演習A		2
チームコーチング基礎演習B		2
3年ゼミナール	4	
4年ゼミナール	4	
卒業論文	4	

別表納入額第 1 の 1

納入額

	家政学部			文芸学部	国際学部	看護学部	ビジネス学部
入学金	150,000 円			150,000 円	150,000 円	150,000 円	150,000 円
授業料 (年 額)	被服学科、 建築・デザイン学科、 760,000 円	食物栄養学科 780,000 円	児童学科 760,000 円	680,000 円	720,000 円	1,230,000 円	750,000 円
施設設備維持費 (年 額)	390,000 円			390,000 円	390,000 円	390,000 円	390,000 円
実験実習料 (年 額)	被服学科、 食物栄養学科食物学 専攻、 建築・デザイン学科 60,000 円	食物栄養学科 管理栄養士専 攻 70,000 円	児童学科 60,000 円	—	—	80,000 円	—
科目等履修 登録料	16,000 円			16,000 円	16,000 円	16,000 円	16,000 円
科目等履修料 (1 単位につき)	12,000 円			12,000 円	12,000 円	12,000 円	12,000 円

納入方法

1. 授業料および施設設備維持費、実験実習料は半額ずつ前期分は 4 月 30 日まで、後期分は 10 月 20 日までに納入するものとする。
2. 削除
3. 削除
4. 2 年次以降の納入金は、新入学者の納入金（入学金を除く。）と同額とする。
5. 最低在学年限を超過した学生の納入金は、当該学生の前年度納入金と同額とする。
6. 休学期間中は当該年度納入金の半額を免除する。
7. 留年者の学費納入取扱い基準
 - 卒業要件不足単位数が 10 単位以内は納入金の年額の 4 分の 1 とする。
 - 卒業要件不足単位数が 11 単位から 25 単位は納入金の年額の 2 分の 1 とする。
 - 卒業要件不足単位数が 26 単位以上は納入金の年額とする。

8. 再入学者の入学金は徴収しない。
9. 共立女子短期大学から本学への編入学における入学金は、免除とする。

別表納入額第1の2

入学検定料 35,000 円

・センター入試利用者、併設校センター特別入試利用者 15,000 円

・統一入試出願者の検定料について以下の通りとする。(特別割引)

複数出願する大学学部の検定料は一学部につき 10,000 円とする。

複数出願する短期大学の検定料は一学科につき 5,000 円とする。

・家政学部児童学科(面接・小論文方式)、文芸学部(面接方式)のAO入試の検定料について、一次選考、二次選考それぞれで徴収することとし、一次選考は 15,000 円、二次選考は 20,000 円とする。

・一般入試(2月日程、3月日程)において、同一試験日、同一科目及び同一問題で複数出願する場合は統一入試(特別割引)に準ずる。

・併設高校出身者(既卒者を含む)が共立女子大学・短期大学を受験するにあたって、2つ以上の入学試験もしくは2学部・科以上を受験する場合、検定料として 35,000 円のみ徴収する。

・一旦納入された入学検定料は返金しない。ただし、下記の事由に該当する場合は申請により返還することがある。

*入学検定料を納入したが、出願しなかった場合

*出願が受理されなかった場合

*入学検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合

共立女子大学学則 変更の事由及び時期等を記載した書類

変更の事由： 平成 32 年度に共立女子大学にビジネス学部を開設することに伴う変更

変更の時期： 平成 32 年 4 月

変更の箇所： 以下の通り

- ・ 第 2 条に設置する学部として「ビジネス学部」を規定
- ・ 第 3 条第 5 項にビジネス学部を設置する学科として「ビジネス学科」を規定
- ・ 第 3 条の 2 第 5 号にビジネス学部の人材養成目的を規定
- ・ 第 13 条の 6 を新設し、ビジネス学部の授業科目区分について規定
- ・ 第 15 条の 4 を新設し、ビジネス学部の授業科目および単位数について規定
- ・ 第 19 条にビジネス学部の卒業要件単位数を規定
- ・ 第 21 条にビジネス学部の収容定員を規定
- ・ 第 44 条に「別表第 13」を追加
- ・ 第 45 条第 2 項に授与する学位として「学士（ビジネス学）」を規定
- ・ 附則を新設し、学則の施行年月日等を規定
- ・ 別表第 1、第 5、別表第 10 の 1、別表第 12 に教養教育科目の改編
- ・ 別表第 13 を新設し、ビジネス学部の教育課程を規定
- ・ 別表納入額第 1 の 1 にビジネス学部の入学金、授業料、施設設備維持費、実験実習料、科目等履修登録料、科目等履修料を規定
- ・ 別表納入額第 1 の 2 に一般入試（2 月日程）における統一入試（特別割引）について規定

共立女子大学学則 変更部分の新旧対照表

新 学 則 (本 文)	旧 学 則 (本 文)
<p>第2条 第1条の目的を達成するため、本学に家政学部、文芸学部、国際学部、看護学部 <u>およびビジネス学部</u> をおく。</p>	<p>第2条 第1条の目的を達成するため、本学に家政学部、文芸学部、国際学部および看護学部をおく。</p>
<p>第3条 家政学部^に被服学科、食物栄養学科、建築・デザイン学科、児童学科をおき、食物栄養学科は食物学専攻と管理栄養士専攻に分ける。</p>	<p>第3条 家政学部^に被服学科、食物栄養学科、建築・デザイン学科、児童学科をおき、食物栄養学科は食物学専攻と管理栄養士専攻に分ける。</p>
<p>2 文芸学部 ～ 4 看護学部 (省略)</p>	<p>2 文芸学部 ～ 4 看護学部 (省略)</p>
<p>5 <u>ビジネス学部</u>に<u>ビジネス学科</u>をおく。</p>	<p>(新 設)</p>
<p>第3条の2 第1条第2項の規定に基づき、本学の各学部等の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的について、以下のとおり定める。</p>	<p>第3条の2 第1条第2項の規定に基づき、本学の各学部等の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的について、以下のとおり定める。</p>
<p>(1) 家政学部 ～ (4) 看護学部 (省略)</p>	<p>(1) 家政学部 ～ (4) 看護学部 (省略)</p>
<p>(5) <u>ビジネス学部・ビジネス学科</u> <u>ビジネス学部の人材養成目的は、本学の建学の精神および共立女子大学の人材養成目的に基づき、「ビジネスの場で活用できる知識・技能と必要な教養を身に付け、他者と協働してリーダーシップを発揮できる人材を養成する」ことである。</u></p>	<p>(新 設)</p>
<p>第13条の6 <u>ビジネス学部の授業科目は、教養教育科目、専門基礎科目、専門基幹科目および専門発展科目に分ける。</u></p>	<p>(新 設)</p>
<p>第15条の4 <u>ビジネス学部の授業科目および単位数は別表13の通りとする。</u></p>	<p>(新 設)</p>
<p>第19条 学生は所属の学科または専攻によって、それぞれ次の単位を修得することとする。</p>	<p>第19条 学生は所属の学科または専攻によって、それぞれ次の単位を修得することとする。</p>
<p>家政学部 ～ 看護学部 (省略)</p>	<p>家政学部 ～ 看護学部 (省略)</p>

新 学 則 (本 文)				旧 学 則 (本 文)			
ビジネス学部				(新 設)			
授業区分		学科		ビ ジ ネ ス 学 科			
		必修科目	14	28			
教養教育科目	選択科目	14					
	必修科目	16					
専門基礎科目	必修科目	32					
専門基幹科目	必修科目	12					
専門発展科目	必修科目	36					
	選択科目						
合 計		124					
第 21 条 各学部の収容定員は次の通りとする。				第 21 条 各学部の収容定員は次の通りとする。			
		入学定員	収容定員			入学定員	収容定員
家政学部				家政学部			
被服学科		90 名	360 名	被服学科		90 名	360 名
食物栄養学科				食物栄養学科			
食物学専攻		55 名	220 名	食物学専攻		55 名	220 名
管理栄養士専攻		50 名	200 名	管理栄養士専攻		50 名	200 名
建築・デザイン学科		100 名	400 名	建築・デザイン学科		100 名	400 名
児童学科		150 名	600 名	児童学科		150 名	600 名
文芸学部				文芸学部			
文芸学科		350 名	1,400 名	文芸学科		350 名	1,400 名
国際学部				国際学部			
国際学科		250 名	1,000 名	国際学科		250 名	1,000 名
看護学部				看護学部			
看護学科		100 名	400 名	看護学科		100 名	400 名
ビジネス学部				(新 設)			
ビジネス学科		150 名	600 名				
第 44 条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、本学則第 19 条に規定する単位数を別表第 1、第 5、第 10 の 1、第 12、 <u>第 13</u> の中から修得しなければならない。				第 44 条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、本学則第 19 条に規定する単位数を別表第 1、第 5、第 10 の 1、第 12 の中から修得しなければならない。			
第 45 条 卒業を認定した学生には、学士の学位を授与する。				第 45 条 卒業を認定した学生には、学士の学位を授与する。			

<p>2 学長は、前項の規程により卒業を認定された者に学士の学位を授与する。本学において授与する 新 学 則 (本 文)</p>	<p>2 学長は、前項の規程により卒業を認定された者に学士の学位を授与する。本学において授与する 旧 学 則 (本 文)</p>
<p>学位は、専攻分野により次のとおりとする。</p> <p>家政学部 学士 (家政学) 文芸学部 学士 (文芸学) 国際学部 学士 (国際学) 看護学部 学士 (看護学) <u>ビジネス学部 学士 (ビジネス学)</u></p> <p><u>附 則</u> 1. この改正学則は、平成 32 年 4 月 1 日から施行する。 2. 平成 31 年度以前に入学した者については、従前の例による。</p>	<p>学位は、専攻分野により次のとおりとする。</p> <p>家政学部 学士 (家政学) 文芸学部 学士 (文芸学) 国際学部 学士 (国際学) 看護学部 学士 (看護学) (新 設)</p> <p>(新 設)</p>

新 学 則 (別表関係)

別表第1 家政学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己実現	2	
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎		2
情報処理		2
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A (リスニング・スピーキング)	2	
英語B (リーディング・ライティング)		2
アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現)		2
アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)		2
アドバンスト英語C (TOEIC)		2
フランス語 I (入門)		2
フランス語 II (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
中国語 I (入門)		2
中国語 II (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
ドイツ語 I (入門)		2
ドイツ語 II (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
コリア語 I (入門)		2
コリア語 II (表現)		2
スペイン語 I (入門)		2
スペイン語 II (表現)		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2
芸術をひらく		2
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2
自己開発		2
法律を学ぶ (日本国憲法)		2
法律を学ぶ (概論)		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待		2
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A	1	
健康スポーツ実習B	1	
健康スポーツ演習	1	
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
協働とリーダーシップコア		
現代社会の諸課題 (経済・産業)		2
現代社会の諸課題 (環境・科学)		2
現代社会の諸課題 (文化・芸術)		2

旧 学 則 (別表関係)

別表第1 家政学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
基本スキルユニット		
入門		
基礎ゼミナール	2	
ことばとスキル		
表現技法 I (作文・論文)		1
表現技法 II (読解・分析)		1
表現技法 III (企画立案・発表討論)		1
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
英語 I		2
英語 II		2
ビジネス英語 I		2
ビジネス英語 II		2
オーラル・コミュニケーション		2
TOEIC総合演習		2
基礎フランス語 (入門)		2
基礎フランス語 (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
基礎中国語 (入門)		2
基礎中国語 (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
基礎ドイツ語 (入門)		2
基礎ドイツ語 (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
基礎スペイン語 (入門)		2
応用スペイン語 (総合)		2
基礎イタリア語 (入門)		2
応用イタリア語 (総合)		2
基礎ロシア語 (入門)		2
基礎コリア語 (入門)		2
応用コリア語 (総合)		2
基礎アラビア語 I		1
基礎アラビア語 II		1
情報基礎		2
情報処理		2
情報活用法A (データベース)		2
情報活用法B (ネットワーク)		2
統計基礎		2
統計情報処理		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
健康スポーツ演習		1
教養ユニット		
学問への招待		
教養講座		2
生活の中の教養		
比較文化の視点		2
メディアと文化		2
文学の世界		2
芸術の世界		2
デザインの現在		2
衣食住の文化		2
生活環境とアメニティ		2
健康の科学		2
介護・ケアと生活		2
社会人としての教養		
政治・社会の諸課題		2
経済・産業の諸課題		2
国際関係の諸課題		2
環境・科学の諸課題		2
人間とは何か		2
人間関係と自己表現		2
現代の家族		2

新学則 (別表関係)

現代社会の諸課題 (生活・地域)		<u>2</u>
現代社会の諸課題 (メディア・表現)		<u>2</u>
教養総合ワークショップA		<u>4</u>
教養総合ワークショップB		<u>4</u>
ワークショップファシリテーション		<u>2</u>

別表第5 文芸学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己実現	2	
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎	2	
情報処理	2	
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A (リスニング・スピーキング)	2	
英語B (リーディング・ライティング)		2
アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現)		2
アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)		2
アドバンスト英語C (TOEIC)		2
フランス語Ⅰ (入門)		2
フランス語Ⅱ (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
中国語Ⅰ (入門)		2
中国語Ⅱ (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
ドイツ語Ⅰ (入門)		2
ドイツ語Ⅱ (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
韓国語Ⅰ (入門)		2
韓国語Ⅱ (表現)		2
スペイン語Ⅰ (入門)		2
スペイン語Ⅱ (表現)		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語 (留学生対象)		2

旧学則 (別表関係)

地域社会と福祉		2
女性と社会		2
マーケティング		2
ライフプランとキャリアプラン		2
企業・組織の仕組み		2
総合表現ワークショップ		2
自己開発		2
専門を学ぶための教養		
文学		2
哲学概論		2
倫理学概論		2
言語学概論		2
心理学		2
教育学		2
社会学概論		2
文化人類学		2
民俗学		2
人文地理学		2
自然地理学		2
地誌学概論		2
法学概論		2
法学 (日本国憲法)		2
政治学概論		2
経済学概論		2
国際関係概論		2
世界史概論		2
日本史概論		2
地域史		2
数学		2
物理学		2
化学		2
生物学		2
専門教育科目 (省略)		

別表第5 文芸学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
基本スキルユニット		
入門		
基礎ゼミナール	2	
ことばとスキル		
表現技法Ⅰ (作文・論文)		1
表現技法Ⅱ (読解・分析)		1
表現技法Ⅲ (企画立案・発表討論)		1
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
英語Ⅰ		2
英語Ⅱ		2
ビジネス英語Ⅰ		2
ビジネス英語Ⅱ		2
オーラル・コミュニケーション		2
TOEIC総合演習		2
基礎フランス語 (入門)		2
基礎フランス語 (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
基礎中国語 (入門)		2
基礎中国語 (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
基礎ドイツ語 (入門)		2
基礎ドイツ語 (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
基礎スペイン語 (入門)		2
応用スペイン語 (総合)		2
基礎イタリア語 (入門)		2
応用イタリア語 (総合)		2
基礎ロシア語 (入門)		2
基礎韓国語 (入門)		2
応用韓国語 (総合)		2

新 学 則 (別表関係)			旧 学 則 (別表関係)		
応用日本語 (留学生対象)		2	基礎アラビア語 I		1
日本の歴史を学ぶ		2	基礎アラビア語 II		1
世界の歴史を学ぶ		2	情報基礎	2	
人間と地理を学ぶ		2	情報処理	2	
文学をひらく		2	情報活用法A (データベース)		2
芸術をひらく		2	情報活用法B (ネットワーク)		2
哲学とは何か		2	統計基礎		2
心理を学ぶ		2	統計情報処理		2
自己開発		2	健康スポーツ実習A		1
法律を学ぶ (日本国憲法)		2	健康スポーツ実習B		1
法律を学ぶ (概論)		2	教養ユニット		
政治を学ぶ		2	学問への招待		
倫理学とは何か		2	教養講座		2
国際関係を学ぶ		2	生活の中の教養		
地域社会と家族を学ぶ		2	比較文化の視点		2
経済を学ぶ		2	メディアと文化		2
社会を学ぶ		2	文学の世界		2
自然と地理を学ぶ		2	芸術の世界		2
数学への招待		2	デザインの現在		2
生物学への招待		2	衣食住の文化		2
物理学への招待		2	生活環境とアメニティ		2
化学への招待		2	健康の科学		2
健康スポーツ実習A		1	介護・ケアと生活		2
健康スポーツ実習B		1	社会人としての教養		
企業と社会の仕組み		2	政治・社会の諸課題		2
マーケティング		2	経済・産業の諸課題		2
女性の生き方と社会		2	国際関係の諸課題		2
協働とリーダーシップコア			環境・科学の諸課題		2
現代社会の諸課題 (経済・産業)		2	人間とは何か		2
現代社会の諸課題 (環境・科学)		2	人間関係と自己表現		2
現代社会の諸課題 (文化・芸術)		2	現代の家族		2
現代社会の諸課題 (生活・地域)		2	地域社会と福祉		2
現代社会の諸課題 (メディア・表現)		2	女性と社会		2
教養総合ワークショップA		4	マーケティング		2
教養総合ワークショップB		4	ライフプランとキャリアプラン		2
ワークショップファシリテーション		2	企業・組織の仕組み		2
			総合表現ワークショップ		2
			自己開発		2
			専門を学ぶための教養		
			文学		2
			哲学概論		2
			倫理学概論		2
			言語学概論		2
			心理学		2
			教育学		2
			社会学概論		2
			文化人類学		2
			民俗学		2
			人文地理学		2
			自然地理学		2
			地誌学概論		2
			法学概論		2
			法学 (日本国憲法)		2
			政治学概論		2
			経済学概論		2
			国際関係概論		2
			世界史概論		2
			日本史概論		2
			地域史		2
			数学		2
			物理学		2
			化学		2
			生物学		2
			専門基礎分野 (省略)		
			その他資格関連科目 (卒業要件外) (省略)		

新 学 則 (別表関係)

別表第10の1 国際学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
<u>自律と努力コア</u>		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己表現	2	
課題解決ワークショップ	1	
<u>創造とキャリアコア</u>		
情報基礎		2
情報処理		2
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A (リスニング・スピーキング)	2	
英語B (リーディング・ライティング)		2
アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現)		2
アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)		2
アドバンスト英語C (TOEIC)		2
フランス語 I (入門)		2
フランス語 II (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
中国語 I (入門)		2
中国語 II (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
ドイツ語 I (入門)		2
ドイツ語 II (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
コリア語 I (入門)		2
コリア語 II (表現)		2
スペイン語 I (入門)		2
スペイン語 II (表現)		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2
芸術をひらく		2
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2
自己開発		2
法律を学ぶ (日本国憲法)		2
法律を学ぶ (概論)		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待		2
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
<u>協働とリーダーシップコア</u>		
現代社会の諸課題 (経済・産業)		2
現代社会の諸課題 (環境・科学)		2
現代社会の諸課題 (文化・芸術)		2
現代社会の諸課題 (生活・地域)		2
現代社会の諸課題 (メディア・表現)		2

旧 学 則 (別表関係)

別表第10の1 国際学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
基本スキルユニット		
入門		
基礎ゼミナール	2	
ことばとスキル		
表現技法 I (作文・論文)		1
表現技法 II (読解・分析)		1
表現技法 III (企画立案・発表討論)		1
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
英語 I		2
英語 II		2
ビジネス英語 I		2
ビジネス英語 II		2
オーラル・コミュニケーション		2
TOEIC総合演習		2
基礎フランス語 (入門)		2
基礎フランス語 (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
基礎中国語 (入門)		2
基礎中国語 (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
基礎ドイツ語 (入門)		2
基礎ドイツ語 (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
基礎スペイン語 (入門)		2
応用スペイン語 (総合)		2
基礎イタリア語 (入門)		2
応用イタリア語 (総合)		2
基礎ロシア語 (入門)		2
基礎コリア語 (入門)		2
応用コリア語 (総合)		2
基礎アラビア語 I		1
基礎アラビア語 II		1
情報基礎		2
情報処理		2
情報活用法 A (データベース)		2
情報活用法 B (ネットワーク)		2
統計基礎		2
統計情報処理		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
教養ユニット		
学問への招待		
教養講座		2
生活の中の教養		
比較文化の視点		2
メディアと文化		2
文学の世界		2
芸術の世界		2
デザインの現在		2
衣食住の文化		2
生活環境とアメニティ		2
健康の科学		2
介護・ケアと生活		2
社会人としての教養		
政治・社会の諸課題		2
経済・産業の諸課題		2
国際関係の諸課題		2
環境・科学の諸課題		2
人間とは何か		2
人間関係と自己表現		2
現代の家族		2
地域社会と福祉		2
女性と社会		2

新 学 則 (別表関係)			旧 学 則 (別表関係)		
<u>イタリア語</u>		<u>2</u>	応用コリア語 (総合)		2
<u>アラビア語</u>		<u>2</u>	基礎アラビア語 I		1
<u>基礎日本語 (留学生対象)</u>		<u>2</u>	基礎アラビア語 II		1
<u>応用日本語 (留学生対象)</u>		<u>2</u>	情報基礎		2
<u>日本の歴史を学ぶ</u>		<u>2</u>	情報処理	2	
<u>世界の歴史を学ぶ</u>		<u>2</u>	情報活用法A (データベース)		2
<u>人間と地理を学ぶ</u>		<u>2</u>	情報活用法B (ネットワーク)		2
<u>文学をひらく</u>		<u>2</u>	統計基礎		2
<u>芸術をひらく</u>		<u>2</u>	統計情報処理		2
<u>哲学とは何か</u>		<u>2</u>	健康スポーツ実習A		1
<u>心理を学ぶ</u>		<u>2</u>	健康スポーツ実習B		1
<u>自己開発</u>		<u>2</u>	教養講座		2
<u>法律を学ぶ (日本国憲法)</u>		<u>2</u>	比較文化の視点		2
<u>法律を学ぶ (概論)</u>		<u>2</u>	メディアと文化		2
<u>政治を学ぶ</u>		<u>2</u>	文学の世界		2
<u>倫理学とは何か</u>		<u>2</u>	芸術の世界		2
<u>国際関係を学ぶ</u>		<u>2</u>	デザインの現在		2
<u>地域社会と家族を学ぶ</u>		<u>2</u>	衣食住の文化		2
<u>経済を学ぶ</u>		<u>2</u>	生活環境とアメニティ		2
<u>社会を学ぶ</u>		<u>2</u>	健康の科学		2
<u>自然と地理を学ぶ</u>		<u>2</u>	介護・ケアと生活		2
<u>数学への招待</u>		<u>2</u>	政治・社会の諸課題		2
<u>生物学への招待</u>	<u>2</u>		経済・産業の諸課題		2
<u>物理学への招待</u>		<u>2</u>	国際関係の諸課題		2
<u>化学への招待</u>		<u>2</u>	環境・科学の諸課題		2
<u>健康スポーツ実習A</u>		<u>1</u>	人間とは何か		2
<u>健康スポーツ実習B</u>		<u>1</u>	人間関係と自己表現		2
<u>企業と社会の仕組み</u>		<u>2</u>	現代の家族		2
<u>マーケティング</u>		<u>2</u>	地域社会と福祉		2
<u>女性の生き方と社会</u>		<u>2</u>	女性と社会		2
<u>協働とリーダーシップコア</u>			マーケティング		2
<u>現代社会の諸課題 (経済・産業)</u>		<u>2</u>	ライフプランとキャリアプラン		2
<u>現代社会の諸課題 (環境・科学)</u>		<u>2</u>	企業・組織の仕組み		2
<u>現代社会の諸課題 (文化・芸術)</u>		<u>2</u>	総合表現ワークショップ		2
<u>現代社会の諸課題 (生活・地域)</u>		<u>2</u>	自己開発		2
<u>現代社会の諸課題 (メディア・表現)</u>		<u>2</u>	文学		2
<u>教養総合ワークショップA</u>		<u>4</u>	哲学概論		2
<u>教養総合ワークショップB</u>		<u>4</u>	倫理学概論		2
<u>ワークショップファシリテーション</u>		<u>2</u>	言語学概論		2
			心理学		2
			教育学		2
			社会学概論		2
			文化人類学		2
			民俗学		2
			人文地理学		2
			自然地理学		2
			地誌学概論		2
			法学概論		2
			法学 (日本国憲法)		2
			政治学概論		2
			経済学概論		2
			国際関係概論		2
			世界史概論		2
			日本史概論		2
			地域史		2
			数学		2
			物理学		2
			化学		2
			生物学		2
			専門教育科目 (省略)		

新 学 則 (別表関係)

旧 学 則 (別表関係)

別表13 ビジネス学部

授業科目	必修	選択
教養教育科目		
自律と努力コア		
基礎ゼミナール	1	
論理的思考・文章表現		1
ライフプランと自己表現	2	
課題解決ワークショップ	1	
創造とキャリアコア		
情報基礎		2
情報処理	2	
情報の分析と活用A		2
情報の分析と活用B		2
英語A (リスニング・スピーキング)	2	
英語B (リーディング・ライティング)	2	
アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現)	2	
アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	2	
アドバンスト英語C (TOEIC)		2
フランス語 I (入門)		2
フランス語 II (表現)		2
応用フランス語 (総合)		2
中国語 I (入門)		2
中国語 II (表現)		2
応用中国語 (総合)		2
ドイツ語 I (入門)		2
ドイツ語 II (表現)		2
応用ドイツ語 (総合)		2
コリア語 I (入門)		2
コリア語 II (表現)		2
スペイン語 I (入門)		2
スペイン語 II (表現)		2
イタリア語		2
アラビア語		2
基礎日本語 (留学生対象)		2
応用日本語 (留学生対象)		2
日本の歴史を学ぶ		2
世界の歴史を学ぶ		2
人間と地理を学ぶ		2
文学をひらく		2
芸術をひらく		2
哲学とは何か		2
心理を学ぶ		2
自己開発		2
法律を学ぶ (日本国憲法)		2
法律を学ぶ (概論)		2
政治を学ぶ		2
倫理学とは何か		2
国際関係を学ぶ		2
地域社会と家族を学ぶ		2
経済を学ぶ		2
社会を学ぶ		2
自然と地理を学ぶ		2
数学への招待		2
生物学への招待		2
物理学への招待		2
化学への招待		2
健康スポーツ実習A		1
健康スポーツ実習B		1
企業と社会の仕組み		2
マーケティング		2
女性の生き方と社会		2
協働とリーダーシップコア		
現代社会の諸課題 (経済・産業)		2
現代社会の諸課題 (環境・科学)		2
現代社会の諸課題 (文化・芸術)		2
現代社会の諸課題 (生活・地域)		2
現代社会の諸課題 (メディア・表現)		2
教養総合ワークショップA		4

(新 設)

--

(新 設)

新 学 則 (別表関係)

旧 学 則 (別表関係)

ワークショップファシリテーション		2
専門教育科目		
専門基礎科目		
ビジネス入門	2	
経営基礎 I	2	
マーケティング基礎 I	2	
ミクロ経済学基礎 I	2	
会計基礎 I	2	
会計基礎 II	2	
リーダーシップ開発入門演習 I	2	
リーダーシップ開発入門演習 II	2	
専門基幹科目		
経営基礎 II	2	
経営戦略論 I	2	
経営組織論 I	2	
マーケティング基礎 II	2	
流通論 I	2	
流通論 II	2	
統計学基礎演習 I	2	
統計学基礎演習 II	2	
ミクロ経済学基礎 II	2	
マクロ経済学基礎 I	2	
マクロ経済学基礎 II	2	
財務会計 I	2	
財務会計 II	2	
原価計算 I	2	
原価計算 II	2	
リーダーシップ開発基礎演習	2	
専門発展科目		
経営戦略論 II		2
経営組織論 II		2
中小企業論		2
現代経営事情		2
国際経営論		2
人的資源管理論		2
コンプライアンス経営論		2
コーポレート・ガバナンス		2
ビジネスと法A		2
ビジネスと法B		2
消費者行動論		2
マーケティング・リサーチ		2
マーケティング・コミュニケーション		2
現代マーケティング事情		2
ビジネスとプログラミング		2
ビッグデータ分析		2
金融論		2
公共経済学A		2
公共経済学B		2
国際貿易論		2
国際金融論		2
現代金融・会計事情		2
会計演習A		2
会計演習B		2
管理会計 I		2
管理会計 II		2
ファイナンス		2
起業と会計		2
監査論		2
企業評価論		2
リーダーシップ開発応用演習		2
ファシリテーション基礎演習A		2
ファシリテーション基礎演習B		2
チームコーチング基礎演習A		2
チームコーチング基礎演習B		2
3年ゼミナール	4	
4年ゼミナール	4	
卒業論文	4	

(新 設)

新 学 則 (別表関係)

別表納入額第1の1
納入額

	家政学部			文芸学部	国際学部	看護学部	ビジネス学部
入学金	150,000円			150,000円	150,000円	150,000円	150,000円
授業料 (年 額)	被服学科、 建築・デザイン学科、	食物栄養学科	児童学科	680,000円	720,000円	1,230,000円	750,000円
	760,000円	780,000円	760,000円				
施設設備 維持費 (年 額)	390,000円			390,000円	390,000円	390,000円	390,000円
実験実習料 (年 額)	被服学科、 食物栄養学科 食物学専攻、 建築・デザイン学科	食物栄養学科 管理栄養士専攻	児童学科	-	-	80,000円	-
	60,000円	70,000円	60,000円				
科目等履修 登録料	16,000円			16,000円	16,000円	16,000円	16,000円
科目等履修料 (1単位につき)	12,000円			12,000円	12,000円	12,000円	12,000円

別表納入額第1の2

・一般入試 (2月日程、3月日程) において、同一試験日、同一科目
及び同一問題で複数出願する場合は統一入試 (特別割引) に準ず
る。

旧 学 則 (別表関係)

別表納入額第1の1
納入額

	家政学部			文芸学部	国際学部	看護学部
入学金	150,000円			150,000円	150,000円	150,000円
授業料 (年 額)	被服学科、 建築・デザイン学科、	食物栄養学科	児童学科	680,000円	720,000円	1,230,000円
	760,000円	780,000円	760,000円			
施設設備 維持費 (年 額)	390,000円			390,000円	390,000円	390,000円
実験実習料 (年 額)	被服学科、 食物栄養学科 食物学専攻、 建築・デザイン学科	食物栄養学科 管理栄養士専攻	児童学科	-	-	80,000円
	60,000円	70,000円	60,000円			
科目等履修 登録料	16,000円			16,000円	16,000円	16,000円
科目等履修料 (1単位につき)	12,000円			12,000円	12,000円	12,000円

別表納入額第1の2

・一般入試 (3月日程) において、家政学部児童学科、文芸学部、生
活科学科、文科を複数出願する場合は、統一入試の特別割引に準ず
る。

共立女子大学ビジネス学部教授会規程（案）

（設置）

第1条 共立女子大学学則第11条に基づき、ビジネス学部にはビジネス学部教授会（以下「教授会」という）を置く。

2 教授会に関する事項は、この規程の定めるところによる。

（構成）

第2条 教授会は、ビジネス学部の教授、准教授、専任講師および助教をもって構成する。

2 必要がある場合は、その他の職員に出席、発言を求めることができる。

（運営）

第3条 教授会は学部長がこれを招集し、その議長となる。

2 学部長に事故があるときは、教授会であらかじめ定めた教授がこれを代行する。

3 学部長は定期的に教授会を招集するほか、緊急に必要な場合および教授会構成員の過半数の要求がある場合は臨時に教授会を招集する。

第4条 教授会は教授会構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

（審議事項）

第5条 教授会は次の事項を審議し、学長が決定を行うにあたり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業および課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前二号に掲げるもののほか、共立女子大学教授会審議事項内規第2条に基づく以下の事項。

① 学則の適用および改正に関する事項

② 教育研究ならびにその施設設備に関する事項

③ 教育課程に関する事項

④ 教員の人事に関する事項

⑤ 学生の厚生、補導に関する事項

⑥ 学生の身分に関する事項

⑦ 学長の諮問する事項

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学部の教育研究に関する事項について審議し、および学長、学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

（議決）

第6条 教授会の議決は出席した教授会構成員の過半数の同意をもって決する。

2 議長は裁決に加わらない。可否同数の場合は、議長の裁定による。ただし、教員人事およびその他教授会で重要な事項と認めたものについては、3分の2以上の同意を得なければならない。

第7条 教授会において行う選挙および重要事項の議決は無記名投票による。

（委員会）

第8条 教授会は、必要に応じ教授会構成員若干名をもって組織する諸種の委員会を設けることができる。

2 委員会で審議した事項は教授会に報告しなければならない。

（議事録）

第9条 教授会の議事については、書記をおき議事録を作成し、議長がこれを保管する。

2 議事録は次回の教授会において確認を得るものとする。

3 議事録作成のため、関係課員を教授会に出席させることができる。

（規程の変更）

第10条 本規程を変更する場合は、教授会構成員の3分の2以上の同意を得なければならない。

付 則

この規程は、2020年4月1日から施行する。